施設管理

平成 25年度実績に関する事務事業評価表

事務事業名	農村下水道使用料事務	担	課名	下水道課
予算事業名	農村下水道一般管理費	部	係 名	業務係
事業区分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1038
事業期間	開始年度 H15年度以前 終了年度 当面継続	予	会 計	農業集落排水事業特別会計
百総 目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち	算	款	農業集落排水事業費
□ 合 政 策 名	7 魅力ある都市基盤の充実	科	項	農村下水道管理費
計 施 策 名	19 下水道の整備	目	目	一般管理費
画 基本事業名	19-2 安定した下水道事業経営	市	民協働の状況	協働になじまない

農村下水道事業の維持管理費や資本費(起債の元利償還金)の一部を賄うため、使用者から適正な使用料金の徴収を 行う。 事業概要 2事業概 対 象 農村下水道整備区域内利用者 段 汚水排出量に応じた下水道使用料の賦課収納 (活動指標) 井水使用滞納者宅への訪問徴収 農村下水道利用者が、適正な使用料金を公平に負担することにより、下水道経営の健全化を図る。 (成果指標)

	指標名		単位	24年			26年度		
			中世	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	活	① 農村下水道使用料	千円	102, 322	103, 709	102, 966	103, 047	100.1%	106, 163
3	動指	② 接続件数	件	2, 092	2, 107	2, 102	2, 145	102.0%	2, 112
指揮		3							
憬	成	① 下水道水洗化率	%	84. 0	84. 5	84. 4	85. 7	101.5%	85. 2
	果指	② 使用料対象経費に対する充足率	%	49. 6	46. 4	48. 8	51. 6	105. 7%	52. 8
	樗	3							

	E A	出任	24年	F度		25年度		26年度
	区 分	単位	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円						
3	支②委託料	円	2, 396, 000	2, 396, 000	2, 394, 000	2, 393, 170	-0.1%	2, 155, 000
L	出 ③工事請負費	円						
	4 負担金補助及び交付金	円						
4	尺⑤その他	円						
<u> </u>	支出合計 (A)	円	2, 396, 000	2, 396, 000	2, 394, 000	2, 393, 170	-0.1%	2, 155, 000
ス	①国庫支出金	円						
人具	才 ②県支出金	円						
	③地方債	円						
	列 ④その他(使用料、雑入等)	円	2, 396, 000	2, 396, 000	2, 394, 000	2, 393, 170	-0.1%	2, 155, 000
TA	₹⑤一般財源	円						
	収入合計	円	2, 396, 000	2, 396, 000	2, 394, 000	2, 393, 170	-0.1%	2, 155, 000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	4	4	300.0%	4
4	2年間所要時間	時間	200	200	600	600	200.0%	600
重	費 ③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	840, 000	840, 000	2, 520, 000	2, 520, 000	200.0%	2, 520, 000
糸	費 用 (A+B)	円	3, 236, 000	3, 236, 000	4, 914, 000	4, 913, 170	51.8%	4, 675, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

5)取組内容

汚水排出量に応じた下水道使用料の賦課収納 井水使用滞納者宅への訪問徴収

料金改定にかかる調査・準備(結果料金改定は消費税分のみの見直しとなった)

	評価0	り視	点	H24評価	H25評価	評価項目				内	容			
						自治体関与の妥当性	√ 1	妥当であん	る 🗆 :	2 検討の余地	はあり	□ 3	妥当でなし	1
	妥 当	当	性		Α	目的の妥当性	√ 1	妥当であっ		2 検討の余地	はあり	<u> </u>	妥当でなし	1
						対象の妥当性	√ 1	妥当であん	る 🔲 :	2 検討の余地	りあり	<u> </u>	妥当でなし	1
						目標達成度	√ 1	高い		2 目標どおり		□ 3	低い・未実	₹施
	有效	功	性		Α	類似事業の有無	√ 1	なし		2 検討の余地	りあり	<u> </u>	あり	
						上位施策への貢献度	√ 1	高い		2 普通		□ 3	低い	
6						コスト効率	<u> </u>	高い		2 普通		□ 3	低い	
評価	効 3	죋	性		В	実施主体の適正化	√ 1	適正であん		2 改善の余地		□ 3	適正でなし	
価						負担割合の適正化	<u> </u>	適正であん	る 🗵 :	2 改善の余地	ウあり	□ 3	適正でなし	1
	1次	評組	E		۸	現行どおり管理運営	営を行う	ことが適	2 次評価	不要				
	(課長	総括	i)		Α	当			乙伙計准	小安				
	後 ^ 言	亚	農村	寸下水道使用	料は、下水道	事業の維持管理費を	を賄い、	下水道整	評					
	の課点	=	備に	こ要した公債	費の償還利子	-財源の一部を賄うこ	こととさ	れている	価					
	方型1	Щ				骨担の割合が大きく								
	針びが	治 2	益者	きの適正負担	を推進するこ	とでこれを改善し、	健全な	下水道経	結					
	後の方針)(課題及び今	果	営 オ	を確立する必	要がある。				果					

施設管理

平成 25年度実績に関する事務事業評価表

事務事業名 下水道使用料事務		担火	課名	下水道課
予 算 事 業 名 下水道一般管理費		部	係 名	業務係
事業区分 自治事務		署	電話番号	0765-23-1038
本 事 業 期 間 開始年度 H15年	度以前 終了年度 当面継続	予	会 計	下水道事業特別会計
超	で快適な暮らしやすいまち	算	款	下水道費
合 政 策 名 7 魅力ある都市	基盤の充実	科	項	下水道管理費
計 施 策 名 19 下水道の整備		目	目	一般管理費
画 基本事業名 19-2 安定した下	水道事業経営	市月	民協働の状況	協働になじまない

2	事業概要	下水道事業の維持管理費や資本費(起債の元利償還金)を賄うため、使用者から適正な使用料金の徴収を行う。
少	対 象	公共下水道整備区域内利用者
椒要	7	汚水排出量に応じた下水道使用料の賦課収納 井水使用滞納者宅への訪問徴収
	意 図 (成果指標)	公共下水道利用者が、適正な使用料金を公平に負担することにより、下水道経営の健全化を図る。

		指標名単		24年			25年度		26年度
		1日 1示 - 石	単位	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 下水道使用料	千円	537, 953	540, 487	545, 726	544, 881	99.8%	564, 076
3	期指	② 接続件数	件	9, 901	9, 954	10, 496	10, 201	97. 2%	10, 916
指	標	3							
倧	成田	① 下水道水洗化率	%	83. 4	83. 1	83. 4	82. 3	98. 7%	84. 9
	果指	② 使用料対象経費に対する充足率	%	54. 9	54. 6	54. 3	53. 7	98. 9%	58. 8
	標	3							

		Б /\	光件	24年	三度		25年度		26年度
		区 分	単位	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
		①需用費	円						
	支	②委託料	円	13, 219, 000	13, 219, 000	12, 695, 000	12, 694, 349	-4.0%	12, 162, 000
	出	③工事請負費	円						
	内	④負担金補助及び交付金	円						
4	訳	⑤その他	円						
=		支出合計 (A)	円	13, 219, 000	13, 219, 000	12, 695, 000	12, 694, 349	-4.0%	12, 162, 000
7		①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
椿	源	③地方債	円						
	内	④その他(使用料、雑入等)	円	13, 219, 000	13, 219, 000	12, 695, 000	12, 694, 349	-4.0%	12, 162, 000
TIA	訳	⑤一般財源	円						
		収入合計	円	13, 219, 000	13, 219, 000	12, 695, 000	12, 694, 349	-4.0%	12, 162, 000
	人	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	4	4	100.0%	4
	件	②年間所要時間	時間	500	500	800	800	60.0%	800
	費	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	2, 100, 000	2, 100, 000	3, 360, 000	3, 360, 000	60.0%	3, 360, 000
	総	費 用 (A+B)	円	15, 319, 000	15, 319, 000	16, 055, 000	16, 054, 349	4. 8%	15, 522, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

5 取 汚水排出量に応じた下水道使用料の賦課収納 組 井水使用滞納者宅への訪問徴収 内 料金改定にかかる調査・準備 容 (結果料金改定は消費税分のみの見直しとなった)

	評価の視点	1 H24評価	H25評価	評価項目				内	容		
	H I IImi - Davi	The second secon	and the limit	自治体関与の妥当性	✓ 1	妥当であ	る 🗆	2 検討の余地		□ 3	妥当でない
	妥 当 性	生	Α	目的の妥当性	✓ 1	妥当であ	る 🗌	2 検討の余地	しあり	□ 3	妥当でない
				対象の妥当性	√	妥当であ	る	2 検討の余地		□ 3	妥当でない
				目標達成度	<u> </u>	高い	✓	2 目標どおり		□ 3	低い・未実施
	有效性	生	Α	類似事業の有無	✓ 1	なし		2 検討の余地	也あり	□ 3	あり
				上位施策への貢献度	√	高い		2 普通		□ 3	低い
6				コスト効率	1	高い		2 普通		□ 3	低い
評	効 率 性	生	В	実施主体の適正化	☑ 1	適正であ		2 改善の余地	也あり	□ 3	適正でない
価				負担割合の適正化	_ 1	適正であ	る 🗵	2 改善の余地	しあり	□ 3	適正でない
	1 次評価		Α	現行どおり管理運営	営を行う	ことが適	2 次評価	₩ 不要			
	(課長総括)		_ ^	当			2 1/1	11安			
	後課行	水道事業でけ 雨	水処理に要する経	- 費などは公費で負担すべき	とされ 活	水処理にかか	評				
	ジ 脳 仙曲 る	経費は使用料収入	によって賄うとい	う独立採算性の原則が適応	される。し	かしながら、	価				
	기고 교 포	在の下水道使用料	では下水道事業の	維持管理費は賄っているも	のの、下水	道整備に要し	7L.				
				負担の割合が大きくなって を確立していく必要がある		は、安益者の	果				
	今不	21. 見にて作用し、	姓王の「	で 唯立 してい (20 女がの)	۰		<i>→</i>				

事務事業名	下水道受益者負担・分担金事務	担	課名	下水道課
予算事業名	下水道一般管理費	部	係 名	業務係
事業区分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1038
事業期間	開始年度 平成元年 終了年度 当面継続	予	会 計	下水道事業特別会計
項総 目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち	算	款	下水道費
合 政 策 名	7 魅力ある都市基盤の充実	科	項	下水道管理費
計施策名	19 下水道の整備	目	目	一般管理費
画 基本事業名	19-2 安定した下水道事業経営	市	民協働の状況	協働になじまない

2 事	事業概要	公共下水道整備を行った下水道受益地域の土地所有者等(受益者)に対し、事業費の一部を負担してもらうことにより、未整備地域との負担の衡平を図る。 (分担金、負担金制度の考え方) 1 下水道が整備されることにより利益を受ける者の範囲が明確であること。 2 下水道の整備によって特定の地域について環境が改善され、未整備地区に比べて利便性・快適性が著しく向上し、 結果として、当該地域の資産価値を増加させることなどによる。
業	対 象	公共下水道の排水区域内に存する土地の受益者(所有者又は権利者)
概要		公共下水道整備地域の面積に対する分担金・負担金を賦課徴収する。 賦課額は、平方メートル当り 450円。
	意 図 (成果指標)	受益者が、下水道事業の建設費の一部を賄い、また、受益者負担・分担金を公平に負担することにより、下水道経営の健全化を図る。

指標名	単位		F 度		25年度		26年度
1日 1宗 - 石	牛亚	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活 ① 賦課額	千円	49, 573	77, 724	52, 592	74, 502	141. 7%	52, 627
3 ^動 指 ② 徴収額	千円	48, 581	76, 584	51, 540	72, 872	141. 4%	51, 574
1 							
標 成 ① 徴収率	%	98. 00	98. 88	98. 00	97. 81	99.8%	98. 00
果復							
標③							
E //	光件	24年	丰度		25年度		26年度
区分	単位	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
(1)需用費	Н	120, 000	69, 300	120, 000	0	-100.0%	123, 000

		区 分		24-	十尺			20年度	
		区 刀	単位	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
		①需用費	円	120, 000	69, 300	120, 000	0	-100.0%	123, 000
		②委託料	円	661, 000	661, 500	661, 000	362, 250	-45. 2%	389, 000
	出	③工事請負費	円						
	内	④負担金補助及び交付金	円						
4	訳	⑤その他	円	61, 000	57, 882	61,000	54, 945	-5. 1%	70, 000
=		支出合計 (A)	円	842, 000	788, 682	842, 000	417, 195	-47. 1%	582, 000
ス		①国庫支出金	円						
ī		②県支出金	円						
椿	源	③地方債	円						
却	内	④その他(使用料、雑入等)	円	842, 000	788, 682	842, 000	417, 195	-47. 1%	582, 000
+10.	訳	⑤一般財源	円						
		収入合計	円	842, 000	788, 682	842, 000	417, 195	-47. 1%	582, 000
	人	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0. 0%	2
		②年間所要時間	時間	800	800	700	700	-12. 5%	700
	費	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	3, 360, 000	3, 360, 000	2, 940, 000	2, 940, 000	-12. 5%	2, 940, 000
	総	費 用 (A+B)	円	4, 202, 000	4, 148, 682	3, 782, 000	3, 357, 195	-19. 1%	3, 522, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

5 取 公共下水道整備地域の面積に対する分担金・負担金を賦課徴収する。 組 賦課額は、平方メートル当り 450円。 内 下水道整備計画のエリア拡大に伴い、新たに「第6分担区」を設定した。 容 下水道台帳システムの保守点検回数を見直しし、コスト縮減に努めた。(委託料)

	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目				内]	Š			
	妥 当 性		Α	自治体関与の妥当性 目的の妥当性	✓ 1 ✓ 1	妥当である			の余地 の余地				
	女 コ 圧			対象の妥当性	<u> </u>	妥当である		2 検討(の余地			妥当でない	١
				目標達成度	✓ 1	高い			どおり		□ 3	1	施
	有 効 性		Α	類似事業の有無	√ 1	なし			の余地	あり	3		
				上位施策への貢献度	√ 1	高い		2 普通			3	1	
6			_	コスト効率	✓ 1	高い		2 普通			3	1	
評	効 率 性		Α	実施主体の適正化	✓ 1	適正である			の余地		3	~	
価				負担割合の適正化	✓ 1	適正である	5 🗆	2 改善(の余地	あり	□ 3	3 適正でない	١
	1 次評価 (課長総括)		Α	計画どおり事業を実	[施するこ	ことが適当	2次評价	活 不	要				
	後の方針である。	水道の整備に係 h 下水道のま	¥い、便所の水 ▶整備地区に比	・ 洗化、悪臭等の防御 べて快適で住みよい	など生活理	環境が改善 きできるこ	評						
	方 _及 とになるとともに、土地の利用価値も増大することにな						価						
	針び期 ことから、「負担の公平」の原則により下水道の建設費の一部を						結						
	ずび中 ことがら、「負担の公平」の原則により下水道の建設質の一部を負 でいただく必要があり、必要かつ重要な事務である。						果						

	事	孫 事 業 名	地方公営企業決算状況調査事務	担火	課 名	下水道課
	予	算事業名	なし	当部	係 名	業務係
1	事	業 区 分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1038
基本	事	業 期 間	開始年度 平成4年 終了年度 当面継続	予	会 計	なし
平項	総	目 標 名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち	算	款	
·項 目	合	政 策 名	7 魅力ある都市基盤の充実	科	項	
	計	施策名	19 下水道の整備	目	目	
	画	基本事業名	19-2 安定した下水道事業経営	市	民協働の状況	協働になじまない

2 事	争 兼 熌 安	総務省が所管する地方財政状況調査で、公共下水道事業及び農業集落排水事業の施設、業務の概況及びその経営分析を 実施する。
業!	対 象	地方公営企業決算状況調査票
業概要	手 段 (活動指標)	費用構成、職員給与、地方債、一般会計繰入金等経営分析に必要な数値を集計し、総務省の作成システムにより報告を 行う。
	意 図 (成果指標)	正確に調査票を作成することによって、経営状況を分析することができる。

	指標名	単位	24年	F.度			26年度	
	1日 1示 - 17		計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	① 決算状況調査作成時間	時間	200	200	200	200	100.0%	200
3	指 ②							
	標 3							
標	① 総務省提出後に訂正した回数	口	2	1	2	1	50.0%	2
	果 ②							
	標 3							

	区分	単位	24年			25年度		26年度
		平111	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円						
	支 ②委託料	円						
	出③工事請負費	円						
	内 ④負担金補助及び交付金	円						
4	訳 ⑤その他	円						
=	支出合計(A)	円	0	0	0	0		0
7	①国庫支出金	円						
i.	才 ②県支出金	円						
棲	原 ③地方債	円						
	内 ④その他(使用料、雑入等)	円						
712	訳 ⑤一般財源	円						
	収入合計	円	0	0	0	0		0
	人 ①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	4 ②年間所要時間	時間	800	800	800	800	0. 0%	800
	費 ③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	3, 360, 000	3, 360, 000	3, 360, 000	3, 360, 000	0. 0%	3, 360, 000
	※ 費 用 (A+B)	円	3, 360, 000	3, 360, 000	3, 360, 000	3, 360, 000	0. 0%	3, 360, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

取組为食

費用構成、職員給与、地方債、一般会計繰入金等経営分析に必要な数値を集計し、総務省の作成システムにより報告を行った。

	==: /=r 41	J 1-	TTO 45T6/TT	TIOS TO /T	== /= == =				ر با	<u>.</u>			_
	評価の初	心息	H24評価	H25評価	評価項目				内	容			
	19	Lil.		•	自治体関与の妥当性	<u> </u>	妥当である		2 検討の余地		□ 3	妥当でない	
	妥 当	性		Α	目的の妥当性	<u>√</u> 1	妥当である		2 検討の余地		□ 3	妥当でない	
					対象の妥当性	✓ 1	妥当である		2 検討の余地	あり	□ 3	妥当でない	
					目標達成度	✓ 1	高い		2 目標どおり		□ 3	低い・未実施	
	有 効	性		Α	類似事業の有無	√ 1	なし		2 検討の余地	あり	□ 3	あり	
					上位施策への貢献度	√ 1	高い		2 普通		□ 3	低い	
6					コスト効率	1	高い		2 普通		□ 3	低い	
評	効 率	性		В	実施主体の適正化	√ 1	適正である	5 □	2 改善の余地	あり	□ 3	適正でない	
評価					負担割合の適正化	√ 1	適正である	ნ <u></u>	2 改善の余地	あり	□ 3	適正でない	
	1次評			Α	計画どおり事業を実	施するこ	トが滴当	2次評価	五 不要				
	(課長総	舌)				יש לשת.			1 2				
	後の方針)(課題及び今評価結果		·-		='			評					
	の時体	 	レ 送車業の級	労化温を抽場	するために必要不可	かか車業	でもし	価					
	方型研				するためた必安かり	人な事本	EC009.	у-1-					
	針び右	513	き続き行う必	妛かめる。				結					
	~☆果							果					
	7												

事務事業名 雨水幹線築造	三工事	担业	課 名	下水道課
予算事業名 雨水幹線築造	圭事業	当部	係 名	下水道工務係
事業区分 自治事務		署	電話番号	0765-23-1039
事業期間 開始年度	平成9年頃 終了年度 当面継続	予	会 計	下水道事業特別会計
□ 総 目 標 名 基本目標 2	安全で快適な暮らしやすいまち	算	款	下水道費
合 政 策 名 6 生命と則	オ産を守る安全・安心な暮らしの確保	科	項	下水道事業費
計 施 策 名 11 災害に強	鉛いまちの形成	目	目	公共下水道事業費
画 基本事業名 11-1 浸水	対策の強化	市目	民協働の状況	協働になじまない

	指標名		24年	F度			26年度	
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	活 ① 北中1号雨水幹線整備済み延長[累計(延べ延長)]	m	1, 770	1, 770	1, 830	1, 830	100.0%	_
3	期 指 ② こうなぎ川1号雨水幹線整備済み延長[累計(延べ延長)]	т	90	90	110	110	100.0%	380
指	標 ③							
倧	成 1 北中1号雨水幹線整備率[累計](整備済み延長/整備計画延長)	%	96. 7	96. 7	100.0	100. 0	100.0%	_
	果 ② こうなぎ川1号雨水幹線整備率[累計](整備済み延長/整備計園延長)	%	85. 0	85. 0	100.0	100. 0	100.0%	42. 7
	煙 ③							

	区分		単位	24年	F度		25年度		26年度
			中亚	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
		①需用費	円	278, 000	239, 660	278, 000	202, 015	−15. 7%	293, 000
	支	②委託料	円	9, 504, 346	2, 700, 000	6, 750, 000	6, 750, 000	150.0%	10, 000, 000
	出	③工事請負費	円	67, 725, 000	67, 725, 000	63, 037, 500	60, 125, 500	-11. 2%	32, 912, 000
	内	④負担金補助及び交付金	円						
4	訳	⑤その他	円	5, 890, 000	6, 085, 340	18, 887, 500	16, 551, 763	172. 0%	3, 236, 000
=		支出合計 (A)	円	83, 397, 346	76, 750, 000	88, 953, 000	83, 629, 278	9.0%	46, 441, 000
ス		①国庫支出金	円	38, 902, 000	36, 000, 000	41, 875, 000	40, 467, 000	12. 4%	21, 408, 000
ī,		②県支出金	円						
椿	源	③地方債	円	39, 237, 000	37, 331, 000	41, 600, 000	38, 995, 000	4. 5%	21, 700, 000
報		④その他 (使用料、雑入等)	円	5, 258, 346	3, 419, 000	5, 478, 000	4, 167, 278	21.9%	3, 333, 000
TIX		⑤一般財源	円						
		収入合計	円	83, 397, 346	76, 750, 000	88, 953, 000	83, 629, 278	9.0%	46, 441, 000
	人	①事務事業に携わる正規職員数	人	7	7	7	7	0.0%	7
	件	②年間所要時間	時間	2, 300	2, 300	2, 400	2, 400	4. 3%	2, 400
	費	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	9, 660, 000	9, 660, 000	10, 080, 000	10, 080, 000	4. 3%	10, 080, 000
	総	費 用 (A+B)	円	93, 057, 346	86, 410, 000	99, 033, 000	93, 709, 278	8.4%	56, 521, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

5 取 事業実施計画策定のための国土交通省他関係機関との協議 租 整備のための関係機関との打ち合わせ及び地元説明会の実施 内 北中1号雨水幹線 60mの整備 容 こうなぎ川1号雨水幹線 20mの整備

	評価の視	点	H24評価	H25評価	評価項目					内 名				
					自治体関与の妥当性	 ✓ 1	妥当であ	る 🗌	2	検討の余地	あり	□ 3	妥当でなし	١
	妥 当	性		Α	目的の妥当性	✓ 1	妥当であ			検討の余地		□ 3	妥当でなし	١
					対象の妥当性	√ 1	妥当であ	る 🗌	2	検討の余地	あり	□ 3	妥当でなし	
					目標達成度	1	高い	>	2	目標どおり		□ 3	低い・未実	施
	有 効・	性		Α	類似事業の有無	√ 1	なし		2	検討の余地	あり	□ 3	あり	
					上位施策への貢献度	✓ 1	高い		2	普通		□ 3	低い	
6					コスト効率	✓ 1	高い		2	普通		□ 3	低い	
評	効 率	性		Α	実施主体の適正化		適正であ		2	改善の余地		□ 3	適正でなし	
価					負担割合の適正化	✓ 1	適正であ	る 🗆	2	改善の余地	あり	□ 3	適正でなし	١
	1 次評価	Ei 💮		۸	計画どおり事業を写	実施する	ことが適	2次評位	/III	不要				
	(課長総括	.)		Α	当			2 沃叶	ІЩ	1)女				
	後二証		•		<u>=</u>			評						
					∃活環境を確保する#			価						
			うり、住民の	生命財産を守	『るため早期完成に『	句け事業	を推進す	結						
	針び果る。							果						
	→ → 							不						

事務事業名公共	卡下水道事業	担	課 名	下水道課
予 算 事 業 名 公共	卡下水道整備事業	部	係 名	下水道工務係
事業区分自治	台事務	署	電話番号	0765-23-1039
事業期間開	始年度 昭和60年度 終了年度 当面継続	予	会 計	下水道事業特別会計
電 総 目 標 名 基本	x目標2 安全で快適な暮らしやすいまち	算	款	下水道費
百 政 策 名 7	魅力ある都市基盤の充実	科	項	下水道事業費
計 施 策 名 19	下水道の整備	目	目	公共下水道事業費
画 基本事業名 19-7	1 下水道施設の整備	市日	民協働の状況	協働になじまない

生活環境の改善や公共用水域の水質を保全するため、住民生活・生産活動に伴って生じる汚水を浄化する処理場の建 事業概要 設及び各家庭や事業所などと処理場を結ぶ汚水管路を整備する事業。 対 象 段 (活動指標) 計画区域内の住民・事業所等が公共下水道を使用できるようにする。 (成果指標)

	指標名		単位	24年	F 度		25年度		26年度
		1日 1示 41		計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	活	① 整備人口[公共区域]	人	22, 130	21, 700	22, 270	22, 270	100.0%	22, 410
3	動指	② 整備面積[公共区域]	ha	606	594	618	618	100.0%	630
指		3							
倧	成品	1 下水道整備率(整備人口/計画区域内人口)[公共区域]	%	92	90	92. 8	92. 8	100.0%	93. 4
	果指	② 面積整備率(整備面積/区域面積)[公共区域]	%	86	85	88. 2	88. 2	100.0%	89. 9
		3							

	区分		単位	24年	F度		25年度		26年度
			平位	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
		①需用費	円	459, 000	306, 412	459, 000	320, 969	4. 8%	480, 000
	支	②委託料	円	61, 075, 000	47, 830, 000	301, 245, 000	189, 655, 900	296. 5%	371, 050, 000
	出	③工事請負費	円	38, 086, 650	35, 598, 150	71, 488, 500	46, 947, 600	31.9%	63, 595, 000
		④負担金補助及び交付金	円			0			
4	訳	⑤その他	円	8, 296, 500	4, 943, 588	10, 618, 000	7, 884, 031	59.5%	12, 472, 000
=		支出合計 (A)	円	107, 917, 150	88, 678, 150	383, 810, 500	244, 808, 500	176. 1%	447, 597, 000
ス		①国庫支出金	円	49, 628, 000	40, 564, 070	197, 035, 000	124, 026, 875	205. 8%	235, 120, 000
ī	財	②県支出金	円						
棲	源	③地方債	円	46, 730, 000	40, 469, 000	175, 300, 000	113, 205, 000	179. 7%	207, 100, 000
却	内	④その他 (使用料、雑入等)	円	11, 559, 150	7, 645, 080	11, 475, 500	7, 576, 625	-0.9%	5, 377, 000
+IX	訳	⑤一般財源	円						
		収入合計	円	107, 917, 150	88, 678, 150	383, 810, 500	244, 808, 500	176. 1%	447, 597, 000
	人	①事務事業に携わる正規職員数	人	7	7	7	7	0.0%	7
	件	②年間所要時間	時間	3, 100	3, 100	3, 200	3, 200	3. 2%	3, 200
	費	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	13, 020, 000	13, 020, 000	13, 440, 000	13, 440, 000	3. 2%	13, 440, 000
	総	費 用 (A+B)	円	120, 937, 150	101, 698, 150	397, 250, 500	258, 248, 500	153. 9%	461, 037, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

取 処理場やポンプ場の耐震対策や長寿命化対策を進めた。 組 下水道整備計画に基づき、下水道本管の整備を行った。(整備延長 L=300m) 内 工事施工に伴い、地元地権者(区長・地権者)との打合せを実施した。 容

	評価の視	点 H24評価	H25評価	評価項目					内:	容		
				自治体関与の妥当性	√ 1	妥当であっ	る 🗌	2	検討の余地	あり	□ 3	妥当でない
	妥当'	性	Α	目的の妥当性	✓ 1	妥当であ			検討の余地		□ 3	
				対象の妥当性	√ 1	妥当であ	る 🗆		検討の余地		□ 3	
				目標達成度	1	高い	✓		目標どおり		□ 3	1
	有效(生	Α	類似事業の有無	✓ 1	なし			検討の余地	あり	□ 3	
				上位施策への貢献度	✓ 1	高い			普通		□ 3	1=-
6				コスト効率	✓ 1	高い			普通		3	
評	効 率 (生	Α	実施主体の適正化	✓ 1	適正であ			改善の余地		3	
価				負担割合の適正化	<u>√</u> 1	適正であ	ර 🗆	2	改善の余地	りあり	□ 3	適正でない
	1 次評価		Α	計画どおり事業を乳	€施する	ことが適	2次評	価	不要			
	(課長総括)		当			- 5411	IJAAA	. ~			
	後無評	,	L - 1.55 7 7		T === 1 + 0	7L ** 0 L	評					
				間防止や衛生的な生活			価					
	^力 及結		:めり、登傭4	区及び水洗化率100%	に回げ	・美を推進	結					
	方 _及						果					
	~ _今 朱											

事	耳務 事業名	特定環境保全公共下水道事業	担	課名	下水道課
予	算事業名	特定環境保全公共下水道整備事業	部	係 名	下水道工務係
1 事	業 医 分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1039
本 事	業 期 間	開始年度 平成4年度 終了年度 当面継続	予	会 計	下水道事業特別会計
項総	目 標 名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち	算	款	下水道費
合	政 策 名	7 魅力ある都市基盤の充実	科	項	下水道事業費
計	施策名	19 下水道の整備	目	目	特定環境保全公共下水道事業費
画	基本事業名	19-1 下水道施設の整備	市	民協働の状況	協働になじまない

事業概要 生活環境の改善や公共用水域の水質を保全するため、各家庭や事業所などと処理場を結ぶ汚水管路を整備する事業。 対 象 特定環境保全公共下水道事業計画区域内の住民、事業所等 段 ・汚水管路の整備は、国庫補助申請、地元説明、工事の設計積算・監督、中間・完成検査、引渡し・支払い等の事務を行った。 (活動指標) 計画区域内の住民・事業所等が公共下水道を使用できるようにする。 (成果指標)

	指標名		24年	F度		25年度		26年度
	1日 徐 石	単位	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	适 ① 整備人口[特環区域]	人	9, 080	9, 181	9, 220	9, 220	100.0%	9, 360
3	物 ② 整備面積[特環区域]	ha	243	248	260	260	100.0%	277
指	標 ③							
倧	// () 「小道至陽平(至陽八日/ 前國區域內八日)[行環區域]	%	83	83	84	84	100.0%	85
	果 ② 面積整備率(整備面積/区域面積)[特環区域]	%	65	78	69	69	100.0%	74
	標 (3)							

	区 分		24年	F度		25年度		26年度
	区 分	単位	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円	1, 100, 000	831, 463	1, 000, 000	784, 585	-5.6%	1, 035, 000
支	②委託料	円	63, 040, 000	63, 040, 000	21, 000, 000	4, 585, 000	-92. 7%	44, 100, 000
出	③工事請負費	円	946, 730, 350	845, 933, 800	598, 576, 550	510, 209, 400	-39. 7%	633, 000, 000
内	④負担金補助及び交付金	円	17, 000	13, 007	15, 000	14, 497	11.5%	15, 000
△訪	: ⑤その他	円	37, 182, 704	33, 938, 270	16, 727, 000	16, 688, 935	-50.8%	22, 629, 000
=	支出合計 (A)	円	1, 048, 070, 054	943, 756, 540	637, 318, 550	532, 282, 417	-43.6%	700, 779, 000
ス	①国庫支出金	円	516, 374, 000	465, 245, 930	312, 690, 000	259, 226, 125	-44. 3%	343, 944, 000
人具	②県支出金	円						
唐 沥	③地方債	円	480, 334, 000	434, 700, 000	294, 500, 000	245, 800, 000	-43.5%	321, 400, 000
抽片	④その他(使用料、雑入等)	円	51, 362, 054	43, 810, 610	30, 128, 550	27, 256, 292	-37.8%	35, 435, 000
部	· ⑤一般財源	円						
	収入合計	円	1, 048, 070, 054	943, 756, 540	637, 318, 550	532, 282, 417	-43.6%	700, 779, 000
人	①事務事業に携わる正規職員数	人	7	7	7	7	0.0%	7
件	②年間所要時間	時間	5, 400	5, 400	4, 300	4, 300	-20. 4%	4, 300
費	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	22, 680, 000	22, 680, 000	18, 060, 000	18, 060, 000	-20. 4%	18, 060, 000
総	· 費 用 (A+B)	円	1, 070, 750, 054	966, 436, 540	655, 378, 550	550, 342, 417	-43.1%	718, 839, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

5

取 取 下水道整備計画に基づき、下水道本管の整備を行った。 工事施工に伴い、地元関係者(区長・地権者)との打合せを実施した。 整備延長 L=4,200m

	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目				内 容	
	妥 当 性		Α	自治体関与の妥当性 目的の妥当性		妥当である 妥当である		14 = 1	□ 3 妥当でない □ 3 妥当でない
				対象の妥当性		妥当である	o □ 2	検討の余地あり	□ 3 妥当でない
				目標達成度	□ 1 層	高い	√ 2		□ 3 低い・未実施
	有 効 性		Α	類似事業の有無		はし	_ 2		□ 3 あり
				上位施策への貢献度		高い	□ 2		□ 3 低い
6				コスト効率		高い	□ 2		□ 3 低い
評	効 率 性		Α	実施主体の適正化		適正である			□ 3 適正でない
価				負担割合の適正化		適正である	<u>5</u> □ 2	改善の余地あり	□ 3 適正でない
	1 次評価 (課長総括)		Α	計画どおり事業を到 当	『施するこ	とが適	2次評価	不要	
	方題1回 境(定環境保全公 の改善のため 事業を推進す	必要な事業で	- 成内の水質汚濁防止ヾ ҈あり、整備率及びフ	や衛生的な k洗化率100	生活環 0%に向	評価結果		

	-				
	事務事業名	水洗化促進事業	担业	課 名	下水道課
_	予算事業名	なし	当部	係 名	維持保全係
1	事 業 区 分	自治事務	署		0765-23-1087
本	事業期間	開始年度 平成22年度 終了年度 当面継続	予		予算なし
項	総目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち	算		予算なし
基本項目	合 政 策 名	7 魅力ある都市基盤の充実	科	項	予算なし
	計 施 策 名	19 下水道の整備	目	目	予算なし
	基本事業名	19-2 安定した下水道事業経営	市目	民協働の状況	協働になじまない

事業概要 下水道の普及を図るためのPR活動及び水洗化促進のための未接続世帯への個別訪問 対 象 市民 (下水道未接続者) 段 毎年全国的に実施される「下水道の日」(9月10日)にあわせ、下水道の役割やしくみのPR、またその普及を図る ための街頭PR活動を行うことと、未接続世帯への個別訪問 (活動指標) 下水道の必要性を理解してもらい、下水道未接続者が下水道の接続をする。 (成果指標)

	指標名		24年	F.度			26年度	
	1日 保 石	単位	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	适 ① 啓発用品配布数	個	300	300	300	400	133. 3%	300
3	期 ② 浄化センター施設見学者数	人	300	173	300	157	52.3%	300
揰	標 ③							
倧	成 ① 水洗化率(累計)	%	84. 1	83. 4	85. 2	82. 9	97. 3%	86. 2
	^未 ② 未接続世帯面訪問数	件	150	160	150	204	136.0%	150
	標③							

	区 分	単位	24年			25年度		26年度
		平位	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円						
₹ 	②委託料	円						
日		円						
ď		円						
4 1	③その他	円						
= _	支出合計(A)	円	0	0	0	0		0
7	①国庫支出金	円						
上其		円						
唐池	③地方債	円						
	引 ④その他(使用料、雑入等)	円						
割	⑤一般財源	円						
	収入合計	円	0	0	0	0		0
)	①事務事業に携わる正規職員数	人	4	4	6	6	50.0%	6
华		時間	600	600	700	700	16. 7%	700
-	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	2, 520, 000	2, 520, 000	2, 940, 000	2, 940, 000	16. 7%	2, 940, 000
糸	費用(A+B)	円	2, 520, 000	2, 520, 000	2, 940, 000	2, 940, 000	16. 7%	2, 940, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

5

組 下水道の普及を図るためのPR活動を9月10日にアップルヒルで行い、10月28日に環境フェスティバル会場のありそドームで行っ 内 た。また、水洗化促進のための未接続世帯への個別訪問を12月と3月に実施した。 容

		In L			it best o								
	評価の	視点	H24評価	H25評価	評価項目					容			
					自治体関与の妥当性	√ 1	妥当であっ	る 🗆	2 検討の余地	也あり	□ 3	妥当でなり	١,
	妥 当	性		Α	目的の妥当性	√ 1	妥当であっ		2 検討の余地		□ 3	妥当でなり	
					対象の妥当性	1	妥当であっ	る 🗆	2 検討の余地		□ 3	妥当でなり	
					目標達成度	√ 1	高い		2 目標どおり		□ 3		実施
	有 効	性		Α	類似事業の有無	√ 1	なし		2 検討の余地	也あり	□ 3	あり	
					上位施策への貢献度	1	高い		2 普通		□ 3	低い	
6					コスト効率	√ 1	高い		2 普通		□ 3	低い	
評価	効 率	性		В	実施主体の適正化	□ 1	適正であん		2 改善の余均		□ 3	適正でなり	
価					負担割合の適正化	1 >	適正であん	る 🗆	2 改善の余均	也あり	□ 3	適正でなり	<i>ا</i> ،
	1 次許	延		^	計画どおり事業を実	€施する	ことが適	2 次評価	五 不要				
	(課長総	(括)		Α	当				山 1,至				
	後○証	Τ.	ル塔の処割	心亜州た庁ノ	市民に理解と周知し	アハナ	だくため	評					
	の課価	1/-			川氏に垤解と周知し 、整備率及び水洗			価					
	方思知	1-	、主国別保じ	夫他してのり	、金매平及い小流10 8を把握でき、効果に	し学り工	に回り、						
	針び吊	より	た、個別訪問	川よ城貝か呪塚	まを比佐 じさ、効果に	49 CI-	現れはい	結					
	後の方針) (課題及び今評価結果	ַ ילל	重要であり推	進する。				果					

事務事業名 公共下水道維持管理事業	担	課 名	下水道課
予 算 事 業 名 1. 浄化センター維持管理費	当部	係 名	維持保全係
事業区分自治事務	署	電話番号	0765-23-1087
事業期間 開始年度 平成3年度 終了年度 当面継続	予	会 計	下水道事業特別会計
理総 目標名 基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち	算	款	1. 下水道費
合 政 策 名 7 魅力ある都市基盤の充実	科	項	1. 下水道管理費
計 施 策 名 19 下水道の整備	目	目	2. 公共下水道管理費
画 基本事業名 19-2 安定した下水道事業経営	市月	民協働の状況	協働になじまない

事業概要 無津市浄化センター、川の瀬浄化センター、大杉台処理場は、環境の悪化に伴う水質汚濁の解消、公共用水域の水質保全、トイレの水洗化による生活環境の改善を図り、魚津市にくらす人々の快適な生活を守るために設置された。当事業は、魚津市浄化センター、川の瀬浄化センター、大杉台処理場、北鬼江中継ポンプ場、港町中継ポンプ場及び市内のマンホールポンプ場を効率的かつ経済的に、常時良好な水質を維持する事業 処理場への流入水質 兵津市浄化センター、川の瀬浄化センター、大杉台処理場、北鬼江中継ポンプ場、港町中継ポンプ場、マンホールポンプ場の維持管理 意 図 (成果指標) 処理場への流入水質を放流可能な水質に浄化する。

	指標名		単位	24				26年度	
		1日 1示 1口		計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	活	① 魚津市浄化センター施設の修繕件数	件	25	30	25	27	108.0%	25
3	動指	② 川の瀬浄化センター施設の修繕件数	件	5	3	5	0	0.0%	5
指	標	③ 大杉台処理場施設の修繕件数	件	3	0	3	2	66. 7%	3
磦	成	① 魚津市浄化センター放流水質 (BOD)	mg/Q	10	4. 3	10	3. 7	37.0%	10
	果指	② 川の瀬浄化センター放流水質 (BOD)	mg/Q	10	2. 0	10	1. 0	10.0%	10
	標	③ 大杉台処理場放流水質 (BOD)	mg/Q	10	2. 6	10	1. 0	10.0%	10

	区 分		単位	24年			25年度		26年度
		E N	中世	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
		①需用費	円	5, 786, 000	5, 539, 434	5, 586, 000	2, 547, 624	-54.0%	5, 130, 000
	支	②委託料	円	218, 293, 000	208, 673, 069	221, 464, 000	213, 393, 798	2. 3%	227, 260, 000
	出	③工事請負費	巴						
		④負担金補助及び交付金	円	300, 000	299, 168	350, 000	349, 563	16.8%	1, 050, 000
4	訳	⑤その他	円	332, 000	242, 435	329, 000	244, 524	0. 9%	309, 000
<u> </u>		支出合計 (A)	円	224, 711, 000	214, 754, 106	227, 729, 000	216, 535, 509	0.8%	233, 749, 000
ス		①国庫支出金	円						
I.		②県支出金	円						
偆	源	③地方債	円						
情報	内	④その他(使用料、雑入等)	円	224, 711, 000	214, 754, 106	227, 729, 000	216, 535, 509	0.8%	233, 749, 000
TA		⑤一般財源	円						
		収入合計	円	224, 711, 000	214, 754, 106	227, 729, 000	216, 535, 509	0.8%	233, 749, 000
	人	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	1	②年間所要時間	時間	800	800	800	800	0.0%	800
	費	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	3, 360, 000	3, 360, 000	3, 360, 000	3, 360, 000	0.0%	3, 360, 000
	総	費 用 (A+B)	円	228, 071, 000	218, 114, 106	231, 089, 000	219, 895, 509	0.8%	237, 109, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

5

	評価	の礼	見点	H24評価	H25評価	評価項目				内	容			
						自治体関与の妥当性	√ 1	妥当であ	る 🗆	2 検討の余均	也あり	□ 3	妥当でない	
	妥	当	性		Α	目的の妥当性	✓ 1	妥当であ		2 検討の余均	也あり	3	妥当でない	
						対象の妥当性	1	妥当であ	5る 🔲	2 検討の余均	也あり	□ 3	妥当でない	
						目標達成度	√ 1	高い		2 目標どおり	J	□ 3	低い・未実施	
	有	効	性		Α	類似事業の有無	√ 1	なし		2 検討の余均	也あり	□ 3	あり	
						上位施策への貢献度	1	高い		2 普通		□ 3	低い	
6						コスト効率	√ 1	高い		2 普通		□ 3	低い	
評価	効	率	性		Α	実施主体の適正化	1 >	適正であ		2 改善の余均		□ 3	適正でない	
価						負担割合の適正化	1	適正であ	5る 🗆	2 改善の余均	也あり	□ 3	適正でない	
		欠評 長総			Α	現行どおり管理運営 当	きを行う	ことが適	2次評価	不要				
				1 . No 1 1 1 1 1 1 1	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		6-m l	1.3444	⇒m;					
	を課のこ	評価				i区域の拡大に伴い管			評					
	方題	加				よる下水道施設の			価					
	針び	稍出	稚	侍官埋賀は年 サギ環接 <i>も</i> 78	マ電加傾向と	:なるが、下水道施計	はの機能	や解生的	結					
	後の方針)	米	\J.	土沽塚現を傩	休りるため、	点検を計画的に行う	の一般の	める。	果					

1		施設管理			平成	25年度実績	漬に艮	関する事務	務事業語	平価表				
本 天 下 方 日本事務 中国公産									担	. 1910	名	下水道		
	4				曹維持管	管理事業				7 775				
計画 施 乗 名 19 * 下水道の整備	其	事業区						- 10.14	署	電				1
計画 施 乗 名 19 * 下水道の整備	本	事業期						「継続	予					会計
計画 施 乗 名 19 * 下水道の整備	項	総目標名					ハまち			Ĩ.				
画 基本事業名 19-2 安定した下水道事業経営 市民藝術の状況 協働になじまない 日本の本質保全と水の構造を全に保つ。 日本の本質保証に関連を表しています。 日本の表に関連を表しています。 日本の表に関連を表しています。 日本の表に関連を表しています。 日本の表に関連を表しています。 日本の表に関連を表しています。 日本の表に関連を表しています。 日本の表に関連を表しています。 日本の表に関連を表しています。 日本の表に関連を表しています。 日本の表に関連を表します。 日本の表に関連を表しています。 日本の表に関連を表します。 日本の表に関連を表します。 日本の表に関連を表します。 日本の表に表します。 日本の表に表します。 日本の表に表します。 日本の表に表します。 日本の表に表します。 日本の表に表します。 日本の表に表します。 日本の表に表します。 日本の表に表しまで表に、ままの表に表します。 日本の表に表しまで表に、ままの表に表します。 日本の表に表しまで表に、ままの表に表します。 日本の表に表しまで表に、ままの表に表します。 日本の表に表しまで表に、ままの表に表します。 日本の表に表しまで表に、ままの表に表します。 日本の表に表します。 日本の表に表します。	目	台			と盤の	元美								-m -#
字 来 概 要 全が異の地冷化槽の適正な管理を行い、住民の健康で快適な生活環境を維持し、河川などの水質保全と水の復選を全に保う。					小大年	₩ ◊▷ ₩								
大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学		本个 事 未	白 19-2	女正した下	小坦尹	未在呂				口氏肠侧	別の人代	加割い	- なしまな	<u>ر،</u>
指標 名 単位 単位 子位 子位 子位 子位 子位 子位	2事業概要	対 象 手 段 (活動指標)	全に保つとみ里団	地の住民	正な管	理を行い、住	民の優	健康で快適な	生活環境	を維持	し、河川	などの	水質保全と	: 水の循環を健
計画 実績 計画 実績 計画 実績 計画 実績 計画 実績 非画 実績 非画 実績 非画 実績 非画 まの まの まの まの まの まの まの ま			浄化槽か	ら放流可能な	水質に									
1			f 標 名		単位		24年度	宝海	⊒,1.	ш			接出來	
図		***					2		計		美			<u>計画</u> 52
図	3	動②	`		디	J	-	UL		02		00	101. 0/0	32
図	指	標 3												
E ② □ □ □ □ □ □ □ □ □	標	成 ① 年問亚坎	放流水質	(BOD)	mg/Q	1	0	8		10		10.6	106.0%	10
Y		果 ②												
□無用費 円 496、885 496、885 612、000 520、174 4、7、731、00 2 変配料 円 1、029、115 1、019、412 1、117、000 1、060、992 4、1% 1、104、00 1、03 工事消負費 円 1、029、115 1、019、412 1、117、000 1、060、992 4、1% 1、104、00 1、03 工事消負費 円 1、029、115 1、019、412 1、117、000 1、060、992 4、1% 1、104、00 1、03 工事消負費 円 1、029、115 1、019、412 1、117、000 1、060、992 4、1% 1、104、00 1、03 工事消負費 円 1、04、00 1、530、4 21、000 1、530、4 0.0% 21、00 2 21、00 2 21、000 1、530、4 0 2 4、1% 1、104、00 1、531、601 1、750、000 1、596、470 4、2% 1、856、00 1 2 2 2 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		標 ③	-											·
□無用費 円 496、885 496、885 612、000 520、174 4、7、731、00 2 変配料 円 1、029、115 1、019、412 1、117、000 1、060、992 4、1% 1、104、00 1、03 工事消負費 円 1、029、115 1、019、412 1、117、000 1、060、992 4、1% 1、104、00 1、03 工事消負費 円 1、029、115 1、019、412 1、117、000 1、060、992 4、1% 1、104、00 1、03 工事消負費 円 1、029、115 1、019、412 1、117、000 1、060、992 4、1% 1、104、00 1、03 工事消負費 円 1、04、00 1、530、4 21、000 1、530、4 0.0% 21、00 2 21、00 2 21、000 1、530、4 0 2 4、1% 1、104、00 1、531、601 1、750、000 1、596、470 4、2% 1、856、00 1 2 2 2 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			г /\		开什	2	24年度				25年度			26年度
文 ②素託科			区 分											当初予算額
出 □ ②工事請負費		①需用費			円									731, 000
① 負担金補助及び交付金 円			弗			1, 029, 11	5	1, 019, 412	1, 11	7, 000	1, 0	60, 992	4. 1%	1, 104, 000
3 子の他				 	田田									
支出合計 (A)	4		77/20 211) <u>112.</u>		16, 00	0	15, 304	2	21, 000		15, 304	0.0%	21, 000
田園東支出金		支出合計()			円									1, 856, 000
情報 (3)地方債 (世用料、雑入等) 円 1,542,000 1,531,601 1,750,000 1,596,470 4.2% 1,856,00 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)			金		円									
報 内 (3 その他 (使用料、雑入等)	ト				H									
訳 (⑤一般財源 収入合計 円 1,542,000 1,531,601 1,750,000 1,596,470 4.2% 1,856,00 1 1 2 2 100.0% 1,200 200 200 200 0.0% 200 200 200 0.0% 200 200 200 0.0% 200 200 200 0.0% 200 200 200 0.0% 200 200 200 0.0% 200 200 200 0.0% 200 200 200 0.0% 200 200 200 0.0% 200 200 200 0.0% 200 200 200 0.0% 200 200 200 0.0% 200 200 200 0.0% 200 200 200 200 200 200 200 200 200 2	情		使用料. 雑	(大等)	円	1.542.00	0	1.531.601	1. 75	0.000	1.5	96. 470	4.2%	1, 856, 000
人 ①事務事業に携わる正規職員数 人 1 1 2 2 100.0% 技費 ②年間所要時間 時間 200 200 200 200 0.0% 200 3○人件費(②×@4,200円)(B) 円 840,000 840,000 840,000 840,000 840,000 0.0% 840,000 総費用(A+B) 円 2,382,000 2,371,601 2,590,000 2,436,470 2.7% 2,696,00 評価の視点 H24評価 日25評価 評価項目 図表当である 2 検討の余地あり 3 妥当でない 日的の妥当性 1 妥当である 2 検討の余地あり 3 妥当でない 3 妥当でない 有効性 A 目標達成度 1 高い 2 目標どおり 3 低い・未実施 有効性 A 類似事業の有無 2 1 高い 2 検討の余地あり 3 あり 日標達成度 1 高い 2 を計の余地あり 3 あり 3 あり 上位施策への貢献度 2 1 高い 2 普通 3 低い・未実施 6 評功 本性 A 実施主体の適正化 1 適正である 2 改善の余地あり 3 適正でない 6 評功 本性 A 現行どおり管理運営を行うことが適 2 次評価 不要	報		C/13/11\ /19		円	., ,	Ť	.,,	.,	, , , , ,	., •		11 = 70	.,,
中 ②年間所要時間 時間 200 200 200 200 0.0% 20 費 ③人件費(②×@4,200円)(B) 円 840,000 840,000 840,000 840,000 0.0% 840,000 0.0% 840,000 0.0% 840,000 0.0% 840,000 0.0% 840,000 0.0% 840,000 0.0% 840,000 0.0% 840,000 0.0% 840,000 0.0% 840,000 0.0% 840,000 0.0% 840,000 0.0% 840,000 0.0% 840,000 0.0% 840,000 0.0% 840,000 2.0 2.0% 0.0% 2.0% 0.0% 2.0% 0.0% 2.0% 0.0% 2.0% 0.0% 2.0% 0.0% 0.0% 840,000 2.0% 0.0% 0.0% 2.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 2.0% 0.0% <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>1, 542, 00</th> <th>0</th> <th>1, 531, 601</th> <th>1, 75</th> <th>•</th> <th>1, 5</th> <th></th> <th></th> <th>1, 856, 000</th>						1, 542, 00	0	1, 531, 601	1, 75	•	1, 5			1, 856, 000
費 ③人件費(②×@4,200円)(B)円 840,000 840,000 840,000 840,000 0.0% 840,000 0.0% 840,000 0.0% 0.0% 840,000 0.0% 0.0% 840,000 0.0%				E規職員数			1	1						2
総費用(A+B) 円 2,382,000 2,371,601 2,590,000 2,436,470 2.7% 2,696,00														200
平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容		質③人件費((200 円) (B)							1			
取組内容 評価の視点 H24評価 H25評価 評価項目 内容 妥当性 自治体関与の妥当性 ②1 妥当である ②2 検討の余地あり ③3 妥当でない 日的の妥当性 女当性 A 目的の妥当性 ②1 妥当である ②2 検討の余地あり ③3 妥当でない 対象の妥当性 有効性 A 国標達成度 □1 高い ②2 目標どおり ③3 低い・未実施 類似事業の有無 ②1 なし ②2 検討の余地あり ③3 低い・未実施 類似事業の有無 ②1 なし ②2 検討の余地あり ③3 低い・未実施 ③1 高い ②2 検討の余地あり ③3 低い・未実施 ③3 低い・未実施 ③3 低い・未実施 ③3 低い ②1 高い ②2 普通 ③3 低い 本 本 本 ②1 高にである ②2 普通 ③3 低い ③3 低い・未実施 ○3 にい ○3 適正でない ○3 適正ない ○3 適正ない ○3 適正ない		総費用(A	(+B)		円	2, 382, 00	U	2, 3/1, 601	2, 59	00, 000	2, 4:	36, 470	2. 7%	2, 696, 000
内容 評価の視点 H24評価 H25評価 評価項目 中の視点 H24評価 H25評価	_		取り組ん	だ事務事業の	内容及	び改善内容								
日泊体関与の妥当性 1 妥当である 2 検討の余地あり 3 妥当でない 日的の妥当性 1 妥当である 2 検討の余地あり 3 妥当でない 対象の妥当性 1 妥当である 2 検討の余地あり 3 妥当でない 日標達成度 1 高い 2 目標どおり 3 低い・未実施 類似事業の有無 1 なし 2 検討の余地あり 3 あり 上位施策への貢献度 1 高い 2 普通 3 低い コスト効率 1 高い 2 普通 3 低い コスト効率 1 高い 2 普通 3 低い 東施主体の適正化 1 適正である 2 改善の余地あり 3 適正でない 1 次評価 現行どおり管理運営を行うことが適当 2 次評価 不要	5 取組内容	とみ里団地浄化	:槽の維持	管理業務委託	を行っ	<i>t</i> =.								
妥 当 性 A 目的の妥当性 ② 1 妥当である ② 2 検討の余地あり ③ 3 妥当でない 対象の妥当性 ② 1 妥当である ② 2 目標どおり ③ 3 低い・未実施 有 効 性 A 類似事業の有無 ② 1 なし ② 2 検討の余地あり ③ 3 低い・未実施 上位施策への貢献度 ② 1 高い ② 2 普通 ③ 3 低い コスト効率 ② 1 高い ② 普通 ③ 3 低い コスト効率 ② 1 高い ② 普通 ③ 3 低い 実施主体の適正化 ② 1 適正である ② 改善の余地あり ③ 3 適正でない 1 次評価 現行どおり管理運営を行うことが適 ② 次評価 不要		評価の視点	H24評価	H25評価			_							
対象の妥当性 ② 1 妥当である ② 検討の余地あり ③ 妥当でない 目標達成度 ① 1 高い ② 2 目標どおり ③ 低い・未実施 類似事業の有無 ② 1 なし ② 2 検討の余地あり ③ あり 上位施策への貢献度 ② 1 高い ② 2 普通 ③ 低い ③ 3 低い ③ 3 低い ③ 3 低い ③ 3 低い ② 3 適正でない ③ 3 適正でない ④ 3 適正でない		立 木 杯		^				1 妥当であ	る <u></u>					
有 効 性 日標達成度 1 高い ② 2 目標どおり ③ 低い・未実施 類似事業の有無上位施策への貢献度 ② 1 なし ② 2 検討の余地あり ③ 3 あり 上位施策への貢献度 ② 1 高い ② 普通 ③ 3 低い コスト効率 ② 1 高い ② 普通 ③ 3 低い 実施主体の適正化 ② 1 適正である ② 改善の余地あり ③ 適正でない 負担割合の適正化 ② 1 適正である ② 改善の余地あり ③ 適正でない 1 次評価 (課長総括) 現行どおり管理運営を行うことが適当を行うことが可能を行うに対しているに対し		安 ヨ 性		A				<u>□ 安ヨじの</u> 1 妥当であ.	<u>る □</u> る □	2 快計	のま地で	<u> </u>		
上位施策への貢献度 □ 1 高い □ 2 普通 □ 3 低い コスト効率 □ 1 高い □ 2 普通 □ 3 低い 実施主体の適正化 □ 1 適正である □ 2 改善の余地あり □ 3 適正でない 負担割合の適正化 □ 1 適正である □ 2 改善の余地あり □ 3 適正でない 1 次評価 (課長総括) 日本の第一の第一の第一の第一の第一の第一の第一の第一の第一の第一の第一の第一の第一の					目標達					2 目標	どおり		□ 3 低し	ハ・未実施
6		有 効 性		Α	類似事	事業の有無		1 なし		2 検討	の余地を	あり	<u> </u>	IJ
部 効 率 性 A 実施主体の適正化 ☑ 1 適正である □ 2 改善の余地あり □ 3 適正でない 負担割合の適正化 ☑ 1 適正である □ 2 改善の余地あり □ 3 適正でない 1 次評価 (課長総括) A 現行どおり管理運営を行うことが適 2 次評価 不要	c						_							
1 次評価 (課長総括) 現行どおり管理運営を行うことが適 2 次評価 不要	0 莎	効 率 性		Δ								あり		
1 次評価 (課長総括) 現行どおり管理運営を行うことが適 2 次評価 不要	価	/// T.]							
後(評の)関価 分及結 ・ で 今 後(記) 浄化槽への接続率が年々増加し維持管理費が少しずつ増加傾して いる。浄化槽の老朽化してきており特定環境保全公共下水道への 接続を計画的に行う必要がある。		1 次評価		Α	現行と								· == -	
		後の方針で今半 は 接続 る と と と と と と と と と と と と と と と と と と	浄化槽の	老朽化してき	ており				価 結					

	ソフト事業			平成	25年度実績	漬に	関する事務	事業	泮価表				
			直排水設備指定	ミエ事に	吉認定事業				担課	名	下水道		
_	予算事業								係		維持係		
1基本項目	事業区	分 自治事	≨務						署 電	話 番 号	0765-	23-1087	
基	事 業 期	間 開始	年度 平成3	年度	終了年	度当	面継続	=	子 会	計	予算な	iι	
平面	総目標名	名 基本目	標2 安全で	で快適な	な暮らしやすり	いまち	<u>.</u>		, 章	款	予算な	i L	
月日	合 政 策 名	名 7 魅	赴力ある都市基	基盤の3	·····································			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	斗	項	予算な	i L	
Н			水道の整備						∄	- 目	予算な		
	画基本事業名		安定した下	水道事	業経堂				市民協働			なじまな	LV
	本介サネー	H 110 Z	220721	小足子	木札 日				11) 12(10) 13	37 -> -1/1/1/16	רו נוצו נונו	- 4 0 6 6	
2事業概要	事業概要	魚津市の	下水道供用区	域内で	排水設備の旅	正を	できる業者を 行う業者 ているか番食			1. (1.)71.1	エ. 4百°	定十等店と	1. (認定)
概	手段	る。また	、有効期間の	5年を	経過したもの	か、	異動があった	ものに	ついて再	度審査をし	し、要	件を満たし 件を満たし	ていれば認定
要	(活動指標)	する。	(13/33/03/14) *>	٥, ٥	11 X 0 1 C 0 V		3C3310 03 3 1C	0 0011	- 0 (1)	Д ВДС.	J, A	11 2 11-17-2	
	意 図	適正な技	術力を持った	指定工	事店が排水部	と備を	施工すること	により、	生活排	水を安全が	かつ安	心して下オ	〈道管へ導くこ
	(成果指標)	とができ	る。										
						24年月	Ŧ I			25年度			26年度
	指	信標 名		単位	計画	コーク	· 実績	計	画		E	達成率	
	活 ① 指定工事	店更新件数	数	件		0	8	н	115	J 7 / 13	102	88. 7%	16
3	動 ② 指定工事			件		4	7		7	1	6	85. 7%	7
3 指	指 ② 指定工事 ③ 指定工事			件		5	5		5		5	100.0%	5
標	成り期日まで	に済正に	<u>〜</u> 宷杏 <i>t-</i> 数	件		9	20		127		113	89.0%	28
	1果	,~, <u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>	田旦した奴	IT	'	-	20		141		110	00.0/0	20
	指標③												
	保し												
		区 分		単位		24年月				25年度			26年度
	· ·	<u> </u>			予算現額		決算額	予算	現額	決算	額	決算増減率	当初予算額
	①需用費			円									
	支 ②委託料	円田											
	出 ③工事請負費 内 ④負担金補助及び交付金			円 E									
	訳 「会員担金補助及い交付金」 訳 「会員担金補助及い交付金」			円円									
4	支出合計()	Δ)		円		0	0		0		0		0
コ	①国庫支出·			円		U	0		U		U		U
ス	財②県支出金	117.		円									
THE	源③地方債			円									
情報	内④その他(作	使用料、雑	(入等)	円									
ŦX	訳 ⑤一般財源			円									
	収入合計			円		0	0		0		0		0
	人 ①事務事業は		E規職員数	人		1	1		1		1	0.0%	1
	件 ②年間所要			時間	20	0	200		200		200	0.0%	200
	費③人件費(($2\times @ 4, 2$	200 円) (B)	円	840, 00	0	840, 000	8	40, 000	840	0,000	0.0%	840, 000
		(+B)		円	840, 00	0	840, 000	8	40. 000	840), 000	0.0%	840, 000
			*>+ ** + ** -		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		.,		,			70	,
	平成25年度に	-耿り組ん)	だ事務事業の	凹谷及	い以書内容								
5 取組内容	下水道排水設備												
	評価の視点 I	H24評価	H25評価		平価項目		2 mm - 1	7 -		内 容			11 4x · ·
	亚 ル b b.		^		関与の妥当性	✓				の余地あ			当でない
	妥 当 性		Α)妥当性)妥当性	✓ ✓		<u> </u>		の余地あ の余地あ		□ 3 妥	当でない 当でない
				目標達			<u> </u>	<u>ა</u> _	2 目標	 どおり	9		<u>コ C ない</u> ハ・未実施
	有 効 性		Α		業の有無	7				の余地あ	LI	<u></u> 3 あ	
	13 /// 1上		\sim		策への貢献度	\ \ \	<u> 1 高い</u>		2 普通		,	□ 3 低(
6				コスト		\ \ \		-	2 普通			□ 3 低	
誣	効 率 性		Α		体の適正化	7		<u>る</u>		<u>.</u> の余地あ	IJ		, Eでない
評価	.,,		, ` \		合の適正化					の余地あ			Eでない
	1 次評価		^		おり事業を実						•	~-	_
	(課長総括)		Α	[当				2次評	1Ш 1	等			
			に際して、適、健全な下水			Lがで	きる業者を	評価結果	•				

	ソフト事業	平成	25年度実績	に関する事務	8事業語	平価表						
	事務事業名 下水道責任技術者	試験委	員事業		担		名 下水					
4	予算事業名なし				当	7 1余	名 維持					
H T	事業区分 自治事務				署	電	活番号 0765-					
基本項目	事業期間開始年度平成1			当面継続	子	会	計予算					
項	総 目 標 名 基本目標 2 安全			まち	第		款 予算					
ΙÉ	合 政 策 名 7 魅力ある都市	基盤の	充実		和		項 予算					
	計 施 策 名 19 下水道の整備				E		月 予算	なし				
	画 基本事業名 19-2 安定した7	下水道事	業経営		Ī	 卡民協働	の状況 協働	になじまな	い			
2事業概	事業概要 魚津市下水道条例に するため、富山県下2 対象 魚津市の下水道供用E	k道協会	会試験委員として	[試験を行う。ま								
椒要	(活動指標)		付、新規の受付を行う。試験委員として、講習会の実施、認定試験を実施する。									
	意図 適正な技術力を持った (成果指標)とができる。	:指定]	□事店が排水設備	着を施工すること	により、	生活排	水を安全かつ安	<u>:</u> 心して下』 	K道管へ導くこ 			
	指標名	単位		年度		dar	25年度	1 MR CR -++	26年度			
	活「新規及び更新受付した数	—	計画 241	<u>実績</u> 155	計	<u></u> 150	実績 137	<u>達成率</u> 91.3%	計画 150			
3	(1) 新規及び更新受付した数 動 ② 試験委員会、講習会、試験の開催回数	件	5	5		150	8	160.0%	8			
指	動 指 ② 試験委員会、講習会、試験の開催回数 標 ③	回	5	j j		υ	0	100.0%	8			
標	成果の期日までに適正に受付した数	件	241	155		150	137	91.3%	150			
	指標③											
	<u> </u>		0.44	年度			25年度		26年度			
	区 分	単位	予算現額	^{午及} 決算額	予算	現額	- 決算額	決算増減率	当初予算額			
	①需用費	円	1 97 20 000	019F BX	1 51	JU HX	八开以	DV9F-10/2/1	107 开版			
	支②委託料	円										
	出③工事請負費	円										
	内 ④負担金補助及び交付金	円										
4	訳 ⑤ その他	円田		0		0	0		0			
3	支出合計(A) ①国庫支出金	円円	0	0		0	0		0			
ス	財②県支出金	円										
- - - - - - - - - - - - - - - - - -	近した土住	円										
情報	内④その他(使用料、雑入等)	円										
110	訳 ⑤一般財源	円		_								
	収入合計	円	0	0		0	0		0			
	人①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1		1	1	0.0%	1			
	件②年間所要時間	時間	200	200		200	200		200			
	費 ③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	840, 000	840, 000		0,000	840, 000		840, 000			
	総 費 用 (A+B)	円	840, 000	840, 000	84	0,000	840, 000	0.0%	840, 000			
	平成25年度に取り組んだ事務事業の)内容及	び改善内容									
5 取組内容	な 富山県下水道協会試験委員として委員)出席と、下水道	自排水設備工事 責	任技術者	共通試験						
	評価の視点 H24評価 H25評価		評価項目 ×関与の妥当性	☑ 1 妥当であ	る ロ		<u>日本</u> の余地あり	□ 3 翌	当でない			
	妥 当 性 A	目的6	の妥当性 の妥当性	☑ 1 妥当であ☑ 1 妥当であ	る <u></u> る <u></u>	2 検討 2 検討	の余地あり の余地あり	□ 3 妥:	当でない 当でない			
	有 効 性 💮 🗛	類似	達成度 事業の有無 重策への貢献度	□ 1 高い ☑ 1 なし ☑ 1 高い		2 普通	の余地あり	□ 3 低I □ 3 あ □ 3 低I				
6		コス	卜効率	☑ 1 高い		2 普通		□ 3 低	١,١			
評	A		主体の適正化	☑ 1 適正であ			の余地あり		正でない			
佃			割合の適正化	✓ 1 適正であっ	ර 🗆	2 改善	の余地あり	□ 3 適	正でない			
	1 次評価 (課長総括)	計画 d 当	どおり事業を実放	也りることが適	2 次評化	西不	要					
	後課の の接続に際して、 が	■一 適正な打			評価結果		1					

施設管理

平成 25年度実績に関する事務事業評価表

事務事業	名 農村下水道維持管理事業	担	課 名	下水道課
予算事業	名 1. 管路維持管理費 2. 処理場維持管理費	当部	係 名	維持保全係
事業区	分 自治事務	署	電話番号	0765-23-1087
本 事業期 「	間 開始年度 平成3年度 終了年度 当面継続	予	会 計	農業集落排水事業特別会計
項総目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち	算	款	1. 農業集落排水事業費
□ 合 政 策 名	7 魅力ある都市基盤の充実	科	項	1. 農村下水道管理費
計 施 策 名	19 下水道の整備	目	目	2. 農村下水道維持管理費
基本事業名	2 19-2 安定した下水道事業経営	市月	民協働の状況	協働になじまない
計施策名		市	* *	2011 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

事業概要 東城、平沢、上野方、天神、上中島、西布施処理施設の適正な管理を行い、住民の健康で快適な生活環境を維持し、河川などの水質保全と水の循環を健全に保つ。

対象 処理場への流入水質

手段 (活動指標) 東城、平沢、上野方、天神、上中島、西布施処理場の維持管理

意 図 (成果指標) 処理場への流入水質を放流可能な水質に浄化する。

		指 標 名	単位	24年	F 度			26年度	
		11 保 石	半世	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	活	① 点検回数	口	401	400	401	399	99.5%	401
3	動指	2							
指揮	標	3							
憬	成田	① 放流水質 (BOD)	mg/ϱ	10	3. 6	10	4. 4	44.0%	10
	果指	2							
	標	3							

	区 分		単位	24年			25年度		26年度
		E N	中世	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
		①需用費	円	19, 767, 460	18, 749, 851	19, 229, 000	17, 313, 564	-7. 7%	19, 946, 000
	支	②委託料	円	27, 337, 000	25, 653, 350	27, 210, 000	26, 055, 404	1.6%	28, 180, 000
		③工事請負費	巴						
		④負担金補助及び交付金	巴						
4	訳	⑤その他	巴	4, 223, 540	3, 774, 435	4, 499, 000	3, 450, 738	-8.6%	4, 524, 000
=		支出合計 (A)	巴	51, 328, 000	48, 177, 636	50, 938, 000	46, 819, 706	-2.8%	52, 650, 000
ス		①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
棲	源	③地方債	巴						
		④その他(使用料、雑入等)	円	51, 328, 000	48, 177, 636	50, 938, 000	46, 819, 706	-2.8%	52, 650, 000
TIA		⑤一般財源	円						
		収入合計	円	51, 328, 000	48, 177, 636	50, 938, 000	46, 819, 706	-2.8%	52, 650, 000
	人	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	2	2	-33. 3%	2
		②年間所要時間	時間	800	800	500	500	-37. 5%	500
	費	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	3, 360, 000	3, 360, 000	2, 100, 000	2, 100, 000	-37. 5%	2, 100, 000
	総	費 用 (A+B)	円	54, 688, 000	51, 537, 636	53, 038, 000	48, 919, 706	-5. 1%	54, 750, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

5取組内容

農村下水道処理場の維持管理業務委託を行った。

容
!あり □ 3 妥当でない
」あり □ 3 妥当でない
」あり □ 3 妥当でない
!あり □ 3 あり
□ 3 低い
□ 3 低い
!あり □ 3 適正でない
!あり □ 3 適正でない
ָנָ ינ

補助金

平成 25年度実績に関する事務事業評価表

	補助金	半队	25年度美領	に関する事務	等条件	恤表				
	事務事業名 水洗化資金利子補給	合事業			担	課	名	下水道	直課	
	予 算 事 業 名 2. 下水道一般管理	ŧ			当部	係		維持傷		
1基本項目	事業区分 自治事務				署	電話	番 号	0765-	23-1087	
基	事業期間開始年度平成3	年度	終了年度	当面継続	予	会	計	下水道	直事業特別	会計
中西	総 目 標 名 基本目標2 安全	で快適	な暮らしやすい	まち	算		款	1. 下力	k道費	
月日	合 政 策 名 7 魅力ある都市	基盤の	 充実		科		項	1. 下力	K道管理費	
Н	計 施 策 名 19 下水道の整備				目				设管理費	
	画 基本事業名 19-2 安定した下	水道事	業経営		市	民協働の			こなじまな	()
				1 TO #= = 0.						
2 車	事業概要 当業概要 会は一次では 会はでするためででする。 会はでするでは、 会はでするだけでできます。 は、これでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	:めに要 :洗便所 長期コ	₹する資金(以↑ 析等の普及及びಔ プライムレート+	ヾ「改造資金」と 環境衛生の向上を 1.0% 利子補給&	いう。) <i>の</i> 図ること <i>を</i> <u>頁:支払利</u>	D融資を E目的と 子の1/2	うっせん及 :する。 2 <u>又は貸付</u>	及びこ <u>け利率</u>	れに伴う和	川子補給金の交
2事業概要	対象 公共下水道並びに農村手 段 「エお茶の」かり、は						卡接続世 节	F		
要	** 57								- 1- 11 1 -	
	成果指標) 下水道接続のための資	金の刷			ことで、例			別利用	の促進を図	
	指標名	単位	計画	年度 実績	計画		25年 <u>度</u> 実績	i	達成率	26年度 計画
		件	5	<u> </u>	一门世	10	大 积	0	建风华 0.0%	10
3	活 ① 利子補給件数 動 ② 標 ③	17	+			10			0.0/0	10
3 指標	指 [] []		1			+				
標	成 ① 利子補給額	千円	50	0		10		0	0.0%	10
	果 ②	111							J. 0/0	10
	標③									
			0.4	年度			25年度			26年度
	区 分	単位	予算現額	決算額	予算現		之5年及 決算名	貊	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円	1 升元版	八升版	1 34.00	THE STATE OF THE S	D(31 1	177	八升作以十	二 四 万 开版
	支②委託料	円								
	出③工事請負費	円								
	内④負担金補助及び交付金	円	50, 000	0	10	, 000		0		10, 000
4	訳 「 また」 「 また」	円	F0.000		10	000				10.000
コ	支出合計 (A) ①国庫支出金	円田	50, 000	0	10	, 000		0		10, 000
ス	財②県支出金	円円								
 	W 0 10 1 15	円								
情報	内 ④その他 (使用料、雑入等)	円	50, 000	0	10	, 000		0		10, 000
ŦX		円								
	収入合計	円	50, 000	0	10	, 000		0		10, 000
	人 ①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1		1		1	0.0%	1
	件 ②年間所要時間	時間	200	200		100		100	-50.0%	100
	費 ③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	840, 000	840, 000	420	, 000	420	, 000	-50.0%	420, 000
	総 費 用 (A+B)	円	890, 000	840, 000	430	, 000	420	, 000	-50.0%	430, 000
	平成25年度に取り組んだ事務事業の	内容及	び改善内容							
5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容 5 取取									
	評価の視点 H24評価 H25評価		評価項目			内	容			
		自治体	関与の妥当性	☑ 1 妥当であ			の余地あ		□ 3 妥	当でない
	妥 当 性 A		の妥当性	☑ 1 妥当であ	<u>る 口 2</u>		の余地あ		□ 3 妥	当でない
			り妥当性	☑ 1 妥当であ			の余地あ	<i>1</i>)		当でない
	有 効 性 💮 🗛		達成度 事業の有無	□ 1 高い ☑ 1 なし	✓ 2 □ 2	目標の	とおり D余地あ	LI	□ 3 低 □ 3 あ	ハ・未実施 u
	有 効 性 A		策への貢献度	☑ 1 なし☑ 1 高い	□ 2		ション・ハマン (タ)	,	□ 3 仮	
6			ト効率	☑ 1 高い	□ 2 普通 □ 3 低い					
6 評価	A	実施主	主体の適正化	☑ 1 適正であ			の余地あ	IJ		。 正でない
価			割合の適正化				の余地あ	IJ		正でない
	1 次評価 (課長総括)	現行と	どおり補助するこ	ことが適当	2次評価	不	要			
	後課での題価 が力及結 か要な制度である。 ・今果)利用(はないが、水洗イ	上率向上のため	評価結果					

補助金

平成 25年度実績に関する事務事業評価表

	事務事業名	净化槽設置整備助成事業	担	課 名	下水道課
	予算事業名	4. 浄化槽普及促進事業 5. 浄化槽設置整備助成事業	当部	係 名	維持保全係
1	事 業 区 分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1087
1基本項	事業期間	開始年度 昭和63年度 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
1 項	総目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち	算	款	4. 衛生費
自	台 以 宋 名	7 魅力ある都市基盤の充実	科	項	1. 保健衛生費
•	計 施 策 名	19 下水道の整備	目	目	5. 環境衛生費
	基本事業名	19-1 下水道施設の整備	市月	民協働の状況	協働になじまない

事業概要

事

生活排水による公共用水域の水質汚濁の防止と、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、下水道事業整備未 認可区域での専用住宅に浄化槽を設置する場合に対し、その経費の一部を魚津市合併処理浄化槽整備事業補助金交付 要綱に基づき補助金を交付する等普及促進事業

対 象 段 (活動指標)

下水道事業整備未認可区域での専用住宅に居住及び所有する者(ただし、店舗等併用住宅においては、住宅部分が 1 / 2 以上あるもの) 下水道事業整備未認可区域での専用住宅に居住及び所有する者(ただし、店舗等併用住宅においては、住宅部分が 1 / 2 以上あるもの)合併処理学化槽設置者に対し補助金を交付(申請書の審査・交付決定後に工事着手。工事途中立会検査を行う。実績報 告書を審査し、補助金を交付)

(成果指標)

下水道事業整備未認可区域において、生活排水による公共用水域の水質汚濁の防止と、生活環境の保全及び公衆衛生 の向上を図る。

	指標名	単位	24년	F度		25年度		26年度
	11 保 名	中世	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	活 ① 下水道事業整備未認可区域での浄化槽設置数	基	5	5	15	11	73.3%	8
3	助 ② 浄化槽設置による処理人口	人	30	23	69	51	73. 9%	36
遁	標 ③							
倧	成 ① 申請時下水道事業整備未認可区域での処理人口	人	1, 840	1, 854	1, 923	1, 905	99. 1%	1, 941
	指							
	標 ③							

		区 分	単位	24年	F度		25年度		26年度
			中亚	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
		①需用費	円						
		②委託料	円						
		③工事請負費	円						
		④負担金補助及び交付金	円	2, 304, 000	2, 027, 000	6, 139, 000	4, 611, 000	127. 5%	3, 230, 000
4	訳	⑤その他	円						
3		支出合計 (A)	円	2, 304, 000	2, 027, 000	6, 139, 000	4, 611, 000	127. 5%	3, 230, 000
ス		①国庫支出金	円	0	0	2, 046, 000	1, 009, 000		1, 076, 000
ī	財	②県支出金	円	768, 000	675, 000	2, 046, 000	1, 537, 000	127. 7%	1, 076, 000
棲	源	③地方債	円						
報	内	④その他(使用料、雑入等)	円						
TIX	訳	⑤一般財源	円	1, 536, 000	1, 352, 000	2, 047, 000	2, 065, 000	52. 7%	1, 078, 000
		収入合計	円	2, 304, 000	2, 027, 000	6, 139, 000	4, 611, 000	127. 5%	3, 230, 000
	人	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	1	1	-50.0%	1
	件	②年間所要時間	時間	400	400	200	200	-50.0%	200
	費	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	1, 680, 000	1, 680, 000	840, 000	840, 000	-50.0%	840, 000
	総	費 用 (A+B)	円	3, 984, 000	3, 707, 000	6, 979, 000	5, 451, 000	47.0%	4, 070, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

和 合併処理浄化槽設置者に対し補助金を交付(申請書の審査・交付決定後に工事着手。工事途中立会検査を行う。実績報告書を審査 内 し、補助金を交付) 容

	評価の	<u> ク視</u>	点	H24評価	H25評価	評価項目					内	容			
						自治体関与の妥当性	√ 1	妥当であ	る	2	検討の余地	也あり	□ 3	妥当でた	ない
	妥当	当 '	性		Α	目的の妥当性	√ 1	妥当であ			検討の余地		□ 3	妥当でた	
						対象の妥当性	1	妥当であ	る	2	検討の余地	也あり	□ 3	妥当でな	
						目標達成度	<u> </u>	高い	✓	2	目標どおり		□ 3		未実施
	有多	勋 '	性		Α	類似事業の有無	√ 1	なし		2	検討の余地	也あり	□ 3	あり	
						上位施策への貢献度	1	高い		2	普通		□ 3	低い	
6						コスト効率	√ 1	高い		2	普通		□ 3	低い	
評価	効 🖺	率 '	性		Α	実施主体の適正化	√ 1	適正であ		2	改善の余地	りあり	□ 3	適正でフ	ない
価						負担割合の適正化	√ 1	適正であ	る 🗌	2	改善の余地	しあり	□ 3	適正でフ	ない
	1次	評価	Fi .		۸	現行どおり補助する	こーレが	密 业	2 次評任	/III:	不要				
	(課長	総括)		Α	近川へのが無助りる) _ C /J';	<u> </u>	乙伙計	ІЩ	个女				
	後二章	还				_			評						
	の課点	TT (下れ	水道事業整備	未認可区域に	:おける生活排水によ	はる公共.	用水域の	価						
	方題1	<u>ж</u>	水質	質汚濁の防止	及び生活環境	や公衆衛生の向上を	と図るたる	めに必要							
	針びれ	後(課)の題価 方及及結 針び今 な事業である。							結						
	し合き	果	J	,					果						

	ソフト事業												
	事務事業名	净化槽汚泥処理事業	担	課名	下水道課								
	予算事業名	6. 浄化槽汚泥処理事業	部	係 名	維持保全係								
1	事 業 区 分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1087								
- 基本項目	事業期間	開始年度 平成22年度 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計								
項	総目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち	算	款	4. 衛生費								
自	合 政 策 名	7 魅力ある都市基盤の充実	科	項	1. 保健衛生費								
	施 策 名	19 下水道の整備	目	目	5. 環境衛生費								
	画 基本事業名	19-2 安定した下水道事業経営	市	民協働の状況	協働になじまない								
2事業概		・化槽汚泥を魚津市浄化センターで受け入れ、浄化槽排水によるな ・公衆衛生の向上を図る。	公共用	水域の水質汚済	蜀の防止と、生活環境の保全及								
業	対 象 魚	津市に浄化槽を所有する者											
概要	手 段 (活動指標)	津市指定の汚泥運搬業者が、魚津市内の浄化槽から排出する汚別	尼を有	料で魚津市浄化	ヒセンターへ搬入する。								

- 1															
	意 図 (成果指標)	浄化槽排水による公共用水域の水質汚濁の防止及び生活環境や公衆衛生の向上を図れる。													
		 · 標 名	単位	24年	F.度		25年度		26年度						
	18	保 名	中亚	計画	実績	計画	実績	達成率	計画						
	活 ① 浄化槽汚	泥投入台数	台	1, 500	1, 249	1, 200	1, 171	97.6%	1, 200						
3	期 ②														
指揮	標 3														
磦	成 ① 浄化槽汚	泥投入量	m³	8, 400	7, 614	7, 600	7, 194	94. 7%	7, 600						
	果 ②														
	標 ③														

	E /\	光件	24年	F度		25年度		26年度
	区 分	単位	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円						
支	②委託料	円						
土		円						
内	0 / 11 = 111 / 12 / 1 / 11 / 1	円	11, 048, 000	9, 944, 424	11, 560, 000	9, 422, 378	-5. 2%	10, 767, 000
4 影		円						
<u> </u>	支出合計 (A)	円	11, 048, 000	9, 944, 424	11, 560, 000	9, 422, 378	-5. 2%	10, 767, 000
スニ	①国庫支出金	円						
L 財	②県支出金	円						
	③地方債	円						
] ④その他(使用料、雑入等)	円						
訴	⑤一般財源	円	11, 048, 000	9, 944, 424	11, 560, 000	9, 422, 378	-5. 2%	10, 767, 000
	収入合計	円	11, 048, 000	9, 944, 424	11, 560, 000	9, 422, 378	-5. 2%	10, 767, 000
人	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
件	0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	時間	400	400	400	400	0.0%	400
費	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	1, 680, 000	1, 680, 000	1, 680, 000	1, 680, 000	0.0%	1, 680, 000
総	· 費 用 (A+B)	円	12, 728, 000	11, 624, 424	13, 240, 000	11, 102, 378	-4. 5%	12, 447, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

魚津市指定の汚泥運搬業者が、魚津市内の浄化槽から排出する汚泥を有料で魚津市浄化センターへ搬入する。

	(I									, ,,,					_
	評価の視	点島	H24評価	H25評価	評価項目					内 名	ž.				
					自治体関与の妥当性	√ 1	妥当であ	る	2	検討の余地	あり	□ 3	妥当7	でない	
	妥 当	性		Α	目的の妥当性	√ 1	妥当であ			検討の余地		□ 3	妥当で		
					対象の妥当性	1	妥当であ	る		検討の余地	あり	□ 3	妥当で		
					目標達成度	1	高い	✓		目標どおり		□ 3	低い	・未実施	
	有 効	性		Α	類似事業の有無	√ 1	なし			検討の余地	あり	□ 3	あり		
					上位施策への貢献度	1	高い			普通		□ 3	低い		
6					コスト効率	√ 1	高い		2	普通		□ 3	低い		
評	効 率	性		Α	実施主体の適正化	√ 1	適正であ			改善の余地		□ 3	適正で		
価					負担割合の適正化	1	適正であ	る	2 i	改善の余地	あり	□ 3	適正で	でない	
	1 次評化	価		۸	計画どおり事業を実	€施する	ことが適	2 次評化	/III:	不要					
	(課長総指	舌)		Α	当			乙伙計	ІЩ	小女					
	後 ○ 証							評							
	の課任	:22.1	1. +# +# -l./- L	7 / 4 = 4	・ヘル所に漂っけして	7 7 ° 4 ° T	ᄪᄨᅜᄭ	価							
	方型加	津1	1. 信排水によ	る公共用水場	の水質汚濁の防止及	えひ生活:	塚児や公								
	針及結	後漁評の方題価 浄化槽排水による公共用: 金銭を結 乗衛生の向上を図るため			安な事業である。			結							
	- 0 人果							果							
	今	針及結													

	施設管理			平成	25年度実績	責に関	目する事務	事業評	価表				
	事務事業	差 名 │公共下	水道管渠維持	寺管理	事業			担	課	名	下水道	主課	
	予算事業	美名 2. 公共	共下水道維持 領	管理費				当部	係	名	維持係	全係	
1	事 業 区	分 自治事	事務					署	電	話番号	0765-	23-1087	
基本	事 業 期	間 開始	年度 平成3	年度	終了年月	ぎ 当面	缸継続	予	会	計	下水道	事業特別	会計
中百	総目標	名 基本目	標2 安全	で快適フ	な暮らしやすい	いまち		算		款	1. 下力	〈道費	
基本項目	合 政 策	名 7 鬼	表力ある都市基	基盤のき	充実			科		項	1. 下力	く道管理費	
Н	計 施 策	名 19 7	水道の整備					目		目	2. 公井	卡下水道管	理費
	画基本事業	業名 19-2	安定した下	水道事	業経営			市	民協賃	か状況	協働に	なじまな	い
2 事業概要	対 身 手 段 (活動指標) 意 図 (成果指標)	能確保をする	ける。	25年度	績	達成率	、支障のある 26年度 計画						
	活 ① 管路清			m	2, 000		1, 873	2	, 000		2, 337	116. 9%	2, 000
3	動 ② 修繕実	施個所件数		件	28	}	28		30		33	110.0%	30
指標	標 (3)												
你		清掃延長		m	38, 374		38, 247	40	, 247		10, 584	100. 8%	42, 584
	指位												
	標 3												
		区 分		単位		4年度				25年度			26年度
					予算現額		決算額	予算現		決算		決算増減率	当初予算額
	①需用費 ②委託料			円田	574, 000 1, 517, 000		308, 040 1, 228, 290	524 1, 517	, 000		52, 040 07, 985	-83. 1% 6. 5%	524, 000 1, 604, 000
	出③工事請任	自 孝		円円	7, 500, 000		4, 972, 800	8, 500			3. 775	64.0%	10, 000, 000
	内鱼負担金		†金	円	7, 000, 000	_	4, 372, 000	0,000	, 000	0, 10	70, 770	04.0/0	10, 000, 000
1	訳 ⑤その他		,	円	500, 000)	227, 871	1, 450	, 000	1, 05	50, 675	361.1%	600, 000
コ	支出合計			円	10, 091, 000)	6, 737, 001	11, 991	, 000	10, 56	64, 475	56.8%	12, 728, 000
ス	①国庫支出			円									
下	財②県支出金源③地方債			円円									
情	.1. 0 22 - 11	(使用料 禁	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	円	10, 091, 000)	6, 737, 001	11, 991	000	10 56	64, 475	56. 8%	12, 728, 000
報	訳⑤一般財活			円	10, 001, 000		0, 707, 001	11,001	, 000	10,00	71, 170	00.070	12, 720, 000
	収入合計			円	10, 091, 000)	6, 737, 001	11, 991	, 000	10, 56	64, 475	56.8%	12, 728, 000
	/ \	業に携わる正	E規職員数	人	1		1		2		2	100.0%	2
	件 ②年間所	要時間		時間	600		600		500		500	-16. 7%	500
	費③人件費	$(2) \times (2) $	200 円) (B)	円	2, 520, 000)	2, 520, 000	2, 100			00, 000	-16. 7%	2, 100, 000
	総費用	(A+B)		円	12, 611, 000)	9, 257, 001	14, 091	, 000	12, 66	64, 475	36.8%	14, 828, 000
	平成25年度	に取り組ん	だ事務事業の	内容及	び改善内容		<u> </u>						
5 取組内容	下水道管路 <i>0</i>		及び修繕を行										
	評価の視点	H24評価	H25評価		平価項目					字 容			
	10 W 10		^		関与の妥当性		1 妥当である			の余地は			当でない
	妥 当 性		Α	目的0.)妥当性)妥当性	<u> </u>				の余地を			当でない 当でない
				目標員			<u>1 妥当であ² 1 高い</u>	<u>ଅ</u> ∠ ସ2		どおり	99		<u>ョでない</u> ハ・未実施
	有 効 性		Α		事業の有無		1 なし	2	検討	の余地あ	あり	3 あ	·J
				上位施	策への貢献度	~	1 高い	_ 2	普通			□ 3 低(,١
6			_	コスト			1 高い	2				□ 3 低	
評価	効 率 性		Α		体の適正化		1 適正であっ			の余地は			Eでない
1曲	1 次評価			貝担き	i <mark>合の適正化</mark> ごおり管理運営		1 適正である			の余地を	りり	□ 3 適	Eでない
	(課長総括)		Α	当	.00万百姓廷古	. دا ت		2次評価		要			

評価 結果

後の方針) 評価結果

当 下水道事業の促進による整備区域の拡大に伴い、管理する下水道施設(管路・マンホール等)の増加及び経年による下水道施設の老朽化等により、維持管理費は年々増加傾向となるが、下水道施設の機能や衛生的な生活環境を確保するため、パトロールや点検を計画的に行う必要がある。

1		ハード事業	平成	25年度実績	に関する事務	8事業評価表			
# ** *** *** *** *** *** *** *** *** **		事務事業名 鴨川放水路下水	直移設事	 業			名 下水		
事業 日本経 一部									
## 東 東 明 明 師母年度 甲戌19年度 東子平度 当面報榜 子 会 計 下水道車乗特別会計		事業区分 自治事務					話 番 号 0765	-23-1087	
## 版 策 4 19 下水道の整備 月 日 2.公共下水道管理費 市民院際の状況 協働になじまない 第本事業 類 要	基	事業期間 開始年度 平成	18年度	終了年度	当面継続		計 下水	道事業特別	会計
## 版 策 4 19 下水道の整備 月 日 2.公共下水道管理費 市民院際の状況 協働になじまない 第本事業 類 要	中項	総 目 標 名 基本目標2 安	全で快適	な暮らしやすい	まち	算	款 1.下	水道費	
## 版 策 4 19 下水道の整備 月 日 2.公共下水道管理費 市民院際の状況 協働になじまない 第本事業 類 要	自	合 政 策 名 7 魅力ある都	市基盤の	充実			項 1.下	水道管理費	
	_	計 施 策 名 19 下水道の整体	Ħ				目 2. 公	共下水道管	理費
対象 特別 大学 特別 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大		画 基本事業名 19-1 下水道施	設の整備	Ħ		市民協働	動の状況 協働	になじまな	い
対象 映川放水路流虹状況に伴い下水道管の移設を実施する。	2		川総合る	を付金事業のため	り、支障となる下	水道管を移設す	る。		
議議・日本	事	対 免 順川放水吸込線の下	かはにも		2				
議議・日本	業	系 特川及小路冶脉(V)	小担に打	をがしている圧り	<u> </u>				
議議・日本	概曲	た 手 段 県の鴨川放水路施工 (活動指標)	.状況に住	⊭い下水道管の₹	8設を実施する。				
指標 名 単位 24年度 25年度 26年度 31	*	意 図 贈川牧北路宮成後土	引き続き	き下水道を利用で					
1			光件	24	年度		25年度		26年度
3 動 ②				計画	実績		実績		計画
□ 移数管路総延長	2	(1) 核設管路延長 動	m	65	65	82	82	100.0%	50
□ 移数管路総延長	指	指 ②							
Y 2 2 2 2 2 2 2 2 2	標			377	377	450	450	100.0%	500
区分 単位 子享現額 決算額 決算額 決算額 決算額 決算額 共類 当初子算額 と 26年度 当初子算額 大享報		果のおきないないないないでは、人人はないものでは、						7.5	
区分 単位 24年度 25年度 25年度 26年度 26年度 20条託料 円 12,000,000 8,967,000 21分享額 決算額 共享期級率 当初予算額 28,2000 27,300,000 47,000,000 46,980,150 72.1% 34,500,000 20,000 47,000,000 46,980,150 72.1% 34,500,000 20,000 25,778,000 46,980,150 72.1% 34,500,000 20,000 25,778,000 58,520,040 103.0% 37,500,000 37,500,000 20,000 25,778,000 58,520,040 103.0% 37,500,000 20,000 20,000 20,000 20,000 20,000 20,000 20,000 20,000 20,000 20,000 20,000 20,000 20,000 20,000 20,000 20,000 20,000 20,000 20,000 <t< th=""><th></th><th></th><th>70</th><th>04</th><th>04</th><th>07</th><th>07</th><th>100.0/0</th><th>,,</th></t<>			70	04	04	07	07	100.0/0	,,
①需用費 円 27,300,000 27,300,000 12,000,000 8,967,000 12,000,000 46,980,150 72.1% 34,500,000 14,000,000 46,980,150 72.1% 34,500,000 14,000,000 46,980,150 72.1% 34,500,000 14,000,000 46,980,150 72.1% 34,500,000 14,000,000 46,980,150 72.1% 34,500,000 15,000,000,000 15,000,000 1				24	年 庠		95年 度		96年度
①需用費 円 円 27,300,000 27,300,000 8,967,000 103,000 10		区 分	単位			予算現額		決算増減率	
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本		①需用費	円	7 31 32 12	0.031 20.				
中				07.000.000	27.000.000				04 500 000
下				27, 300, 000	27, 300, 000	47, 000, 000	46, 980, 150	/2.1%	34, 500, 000
支出合計 (A)		記しての他		1 522 000	1 521 798	3 578 000	2 572 890	69 1%	3 000 000
①国庫支出金 円 円 28,822,000 28,821,798 62,578,000 58,520,040 103.0% 37,500,000 (1		去出入計 (A)							
下部の現立 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	コス	①国庫支出金	円						
四次合計	F	財 ②県支出金	円						
The part of t	情			20 022 000	20 021 700	62 579 000	50 520 040	102 0%	27 500 000
収入合計	報		田田	20, 022, 000	20, 021, 790	02, 376, 000	36, 320, 040	103.0%	37, 300, 000
人 ①事務事業に携わる正規職員数 人 2 2 2 2 0.0% 2 供 ②年間所要時間 時間 800 800 600 600 -25.0% 600 費 ③人件費(②×@4,200円)(B) 円 3,360,000 3,360,000 2,520,000 2,520,000 -25.0% 2,520,000 2,520,000 -25.0% 2,520,000 -25.0% 40,020,000 第四人 2 東田(本) 日本(大) 第四人 2 東京の内容及び改善内容 -25.0% -25.0% 40,020,000 -25.0% 40,020,000 -25.0% 40,020,000 -25.0% 40,020,000 -25.0% -25.0% 40,020,000 -25.0% -25.0% 40,020,000 -25.0% -25.0% -25.0% 40,020,000 -25.0% -26.0				28, 822, 000	28, 821, 798	62, 578, 000	58, 520, 040	103.0%	37, 500, 000
費 ③人件費(②×@4,200円)(B)円 3,360,000 3,360,000 2,520,000 2,520,000 -25.0% 2,520,000 総費用(A+B)円 32,182,000 32,181,798 65,098,000 61,040,040 89.7% 40,020,000 5 取 正成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容 正成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容 中の容となる既設下水道管を先行して82m移設した。 正成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容 中の容となる既設下水道管を先行して82m移設した。 日間の経点 日24評価日日 日泊体関与の妥当性 ② 1 妥当である ② 2 検討の余地あり ③ 3 妥当でない 対象の妥当性 ② 1 妥当である ② 2 検討の余地あり ③ 3 妥当でない 対象の妥当性 ② 1 妥当である ② 2 検討の余地あり ③ 3 妥当でない 対象の妥当性 ② 1 るし ② 2 検討の余地あり ③ 3 低い・未実施 日標達成度 ② 1 高い ② 2 目標どおり ③ 3 低い・未実施 上位施策への貢献度 ② 1 高い ② 2 普通 ③ 3 低い 日標達成度 ② 1 高い ② 2 普通 ③ 3 低い コスト効率 ② 1 高い ② 2 普通 ③ 3 低い				2	2	2	2	0.0%	2
 総費用(A+B) 円 32,182,000 32,181,798 65,098,000 61,040,040 89.7% 40,020,000 平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容 室山県が施工する鴨川放水路工事に伴い、支障となる既設下水道管を先行して82m移設した。 室山県が施工する鴨川放水路工事に伴い、支障となる既設下水道管を先行して82m移設した。 本 当性 日25評価 評価項目 内容 自治体関与の妥当性 ② 1 妥当である □ 2 検討の余地あり □ 3 妥当でない 対象の妥当性 ② 1 妥当である □ 2 検討の余地あり □ 3 妥当でない 対象の妥当性 ② 1 妥当である □ 2 検討の余地あり □ 3 妥当でない 対象の妥当性 ② 1 妥当である □ 2 検討の余地あり □ 3 妥当でない 目標達成度 □ 1 高い ② 2 目標どおり □ 3 低い・未実施 類似事業の有無 ② 1 なし □ 2 検討の余地あり □ 3 あり □ 2 普通 □ 3 低い □ 2 普通 □ 3 低い 		件 ②年間所要時間	時間	800	800	600	600	-25.0%	600
平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容 5 取 組 富山県が施工する鴨川放水路工事に伴い、支障となる既設下水道管を先行して82m移設した。 評価の視点 H24評価 日25評価 評価項目 日治体関与の妥当性 ② 1 妥当である ② 2 検討の余地あり ③ 3 妥当でない 目的の妥当性 ② 1 妥当である ② 2 検討の余地あり ③ 3 妥当でない 対象の妥当性 ② 1 妥当である ② 2 検討の余地あり ③ 3 妥当でない 目標達成度 ② 1 高い ② 2 目標どおり ③ 3 低い・未実施 類似事業の有無 ② 1 なし ② 2 検討の余地あり ③ 3 あり 上位施策への貢献度 ② 1 高い ② 2 普通 ③ 3 低い ③ 2 本の貢献度 ② 1 高い ② 2 普通 ③ 3 低い 6		費 ③人件費 (②×@ 4,200 円) (E) 円	3, 360, 000	3, 360, 000	2, 520, 000	2, 520, 000	-25.0%	2, 520, 000
5 取組 内容 第価の視点 H24評価		総 費 用 (A+B)	円	32, 182, 000	32, 181, 798	65, 098, 000	61, 040, 040	89. 7%	40, 020, 000
5 取組 内容 第価の視点 H24評価		平成25年度に取り組んだ事務事業	の内容及	び改善内容					
妥 当 性 A 自治体関与の妥当性 図 1 妥当である 図 2 検討の余地あり 図 3 妥当でない 目的の妥当性 図 1 妥当である 図 2 検討の余地あり 図 3 妥当でない 対象の妥当性 図 1 妥当である 図 2 検討の余地あり 図 3 妥当でない 目標達成度 図 1 高い 図 2 目標どおり 図 3 低い・未実施 類似事業の有無 図 1 なし 図 2 検討の余地あり 図 3 あり上位施策への貢献度 図 1 高い 図 2 普通 図 3 低い コスト効率 図 1 高い 図 2 普通 図 3 低い	5 取組内容	5 対 3 富山県が施工する鴨川放水路工事に 5	伴い、ま	を障となる既設す	下水道管を先行し	て82m移設した。			
妥 当 性 A 目的の妥当性		評価の視点 H24評価 H25評価							11 1. :
対象の妥当性 ② 1 妥当である □ 2 検討の余地あり □ 3 妥当でない 日標達成度 □ 1 高い □ 2 目標どおり □ 3 低い・未実施 類似事業の有無 □ 1 なし □ 2 検討の余地あり □ 3 あり 上位施策への貢献度 ② 1 高い □ 2 普通 □ 3 低い コスト効率 □ 1 高い □ 2 普通 □ 3 低い		₩ ₩ ∧							
有 効 性 日標達成度 1 高い ② 2 目標どおり ③ 3 低い・未実施 類似事業の有無 上位施策への貢献度 ② 1 なし ② 1 高い ② 2 検討の余地あり ② 2 普通 ③ 3 あり ③ 3 低い 3 低い・未実施 ③ 3 あり 2 普通 ③ 3 低い 3 低い 3 低い 3 低い 3 低い		女 ヨ 性 A			☑ 1 安当であ	る □2 検託 る □2 検託		□3妥	ョでない 当でない
有 効 性 A 類似事業の有無 □ 1 なし □ 2 検討の余地あり □ 3 あり □ 1 高い □ 2 普通 □ 3 低い 6 コスト効率 □ 1 高い □ 2 普通 □ 3 低い								□ 3 低	 い・未実施
6 コスト効率 ☑ 1 高い □ 2 普通 □ 3 低い		有 効 性 🖊 🗛	類似	事業の有無	 ☑ 1 なし	□ 2 検討	か余地あり	3 あ	IJ
コスト効率 図 1 高い □ 2 晋通 □ 3 低い 実施主体の適正化 □ 1 適正である □ 2 改善の余地あり □ 3 適正でない 負担割合の適正化 □ 1 適正である □ 2 改善の余地あり □ 3 適正でない 3 適正でない 日本の意正化 □ 1 適正である □ 2 改善の余地あり □ 3 適正でない 日本の意正化 □ 1 適正である □ 2 改善の余地あり □ 3 適正でない 日本の金属の余地あり □ 3 適正でない 日本の余地あり □ 3 適正でない 日本の余地の余地の名 □ 2 改善の余地の名 □ 2 ひかんの名 □ 2 ひかんのる									
A	6 ₹	7 热 家 州 🐧							
	一個								

2次評価

評

価結果

不要

| Table | T

	施	設管理	平成 25年度実績に関する事務事簿	業評	 面表	
	事	務事業名	名 農業集落排水事業	担	課 名	下水道課
	予	算事業名	2. 農業集落排水事業	部	係 名	維持保全係
1	事	業区を	自治事務	署	電話番号	0765-23-1087
基本	事	業期間	引 開始年度 平成3年度 終了年度 当面継続	予	会 計	農業集落排水事業特別会計
平項	総	目 標 名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち	算	款	1. 農業集落排水事業費
項目	合	政 策 名	7 魅力ある都市基盤の充実	科	項	2. 農業集落排水事業費
	計	施策名	19 下水道の整備	目	目	1. 農業集落排水事業費
	画	基本事業名	19-1 下水道施設の整備	市	民協働の状況	協働になじまない
2	事	業概要	農業集落排水事業は、農業用用排水の水質保全、農村生活環境ので ている。事業概要は、農村集落を対象に各地区単位での汚水処理 で、処理区は8地区としている。			
争業	対	象	農山村集落8地区(東城、上野方、天神、上中島、加積片貝、石塩	亘新、	松倉、西布施)	の住民
事業概	手	段	農業集落排水事業の汚水桝設置工事設計、監督、完成検査、支払し	ハ等の	事務を行った。	

単位 指 標 名 計画 実績 活 ① 下水道管路整備延長(累計) 131, 873 132, 043 131, 873 131, 873 100.1% 132, 043 m 2, 156 ② 公共桝設置数(累計) % 2, 142 2, 166 2, 171 100.2% 2, 181 成 ① 管路整備進捗率 100 100 100 100 100.0% 100 % ② 公共桝設置進捗率 % 100 100 100 100 100.0% 100

計画区域内の住民が農業集落排水施設を利用できる。

	区分	単位	24年	F度		25年度		26年度
	, , , , ,	平177	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円						
3	②委託料	円						
L	出 ③工事請負費	円	8, 500, 000	4, 983, 300	11, 650, 000	10, 290, 000	106.5%	8, 500, 000
P	0)(1==111)(0)(0)(1)(1)	円						
4 1		円						
\exists	支出合計 (A)	円	8, 500, 000	4, 983, 300	11, 650, 000	10, 290, 000	106. 5%	8, 500, 000
ス	①国庫支出金	円						
	才 ②県支出金	円						
	原 ③地方債	円	8, 000, 000	4, 300, 000	11, 000, 000	9, 500, 000	120. 9%	8, 000, 000
	列 ④その他(使用料、雑入等)	円	500, 000	683, 300	650, 000	790, 000	15.6%	500, 000
前	图 ⑤一般財源	円						
	収入合計	円	8, 500, 000	4, 983, 300	11, 650, 000	10, 290, 000	106. 5%	8, 500, 000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
化	2年間所要時間	時間	400	400	400	400	0.0%	400
事	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	1, 680, 000	1, 680, 000	1, 680, 000	1, 680, 000	0.0%	1, 680, 000
糸	費 用 (A+B)	円	10, 180, 000	6, 663, 300	13, 330, 000	11, 970, 000	79.6%	10, 180, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

5取組内容

(成果指標)

下水道接続のための公共桝設置に係る一連の業務を行った。

_														
	評価の	視点	H24評価	H25評価	評価項目					内	容			
					自治体関与の妥当性	√ 1	妥当であ	る 🗆		検討の余地		□ 3	妥当でない	
	妥 当	性		Α	目的の妥当性	√ 1	妥当であ	る 🗌	2	検討の余地	あり	□ 3	妥当でない	
					対象の妥当性	√ 1	妥当であ	る 🗌	2	検討の余地	あり	□ 3	妥当でない	
					目標達成度	<u> </u>	高い	✓	2	目標どおり		□ 3	低い・未実	施
	有 効	性		Α	類似事業の有無	√ 1	なし			検討の余地	あり	□ 3	あり	
					上位施策への貢献度	√ 1	高い			普通		□ 3	低い	
6					コスト効率	√ 1	高い		2	普通		□ 3	低い	
評	効 率	性		Α	実施主体の適正化	√ 1	適正であ	る 🗆	2	改善の余地	あり	□ 3	適正でない	
価					負担割合の適正化	√ 1	適正であ	る 🗆	2	改善の余地	あり	□ 3	適正でない	
	1 次言	平価		^	現行どおり管理運営	営を行う	ことが適	2次評	έπ:	不要				
	(課長約	総括)		Α	当			乙伙計	ІЩ	个女				
	後課:				_			評						
	の世題価		出生さるよご	· 大羊 仏 曲 米 ロ	しんのより所口人のより	L 27 III 45	****	価						
	が題価			以 書い 長 果 用	水の水質保全のため)必要な	事果じめ							
	針び 結	[る	0					結						
	カ及び 会 と	:						果						
	7													

ソフト事業 平成 25年度実績に関する事務事業評価表												
	事務事業					担当	課	名	下水道			
1基本項目	予算事業						係		維持係			
		分 自治事務 間 開始年度 平成1 0	年度 終了年度 当面継続			署	電会	話番号	0/65−			
本			/年度 終 年度 当 画 継続			予 第	五	款	予算な			
項	 							 項	予算な			
Ħ	計 施 策 名					目	目 予算なし					
	画基本事業名		水道事業経営				「民協働の状況 協働になじまない				ر،	
Ξ												
2事業概要	意図は今年に適合した排水設備が整備されることにより、生活排水を安全かつ安心して下水道管へ道くことができる。											
	(以朱指標)											
3 指標	指標名		単位	計画	年 <u>度</u> ┃ 実績	計画	II	25年度 実績	Ē	達成率	26年度 計画	
	适 ① 検査件数 (公共、農集計)		件	393	400	н	400	J 4/13	406	101.5%	400	
	動 指 ② 合格件数 ③		件	393	400		400		406	101.5%	400	
	標 ③ 成 ① 検査合格率(合格件数/検査件数)			100	100		100	1	100	100.00/	100	
	果 ② 指	~(合格件数/快食件数)	%	100	100		100		100	100.0%	100	
	指 3											
Ē		区分	******	2.4	年度			25年度			26年度	
4 =	[単位	予算現額	決算額	予算理	額	決算	額	決算増減率	当初予算額		
	①需用費	円!										
	支②委託料出③工事請負犯	円円										
	内 ④負担金補助及び交付金											
	訳 ⑤その他	円円										
	支出合計(人	円田	0	0		0		0		0		
ス	①国庫支出金 財 ②県支出金	円円										
ト情報	源③地方債	円										
	内④その他(位	円										
	訳 ⑤一般財源 収入合計	円円	0	0		0		0		0		
	人①事務事業は	人	2	2		2		2	0.0%	2		
	件②年間所要	時間	800	800		700		700	-12.5%	700		
	費③人件費(円	3, 360, 000	3, 360, 000	2, 940), 000	2, 940	0, 000	-12.5%	2, 940, 000		
	総費用(A	円	3, 360, 000	3, 360, 000	2, 940	000,	2, 940	0,000	-12.5%	2, 940, 000		
	平成25年度に	こ取り組んだ事務事業の	内容及	び改善内容	·							
5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容 5 取 組 下水道接続のための排水設備計画確認申請に係る一連の業務を行った。 容											
	評価の視点 I		评価項目		_		内 容		_			
	 妥 当 性		自治体関与の妥当性 ☑ 1 妥当である 目的の妥当性 ☑ 1 妥当である				□ 2 検討の余地あり □ 3 妥当でない □ 2 検討の余地あり □ 3 妥当でない					
	女 ヨ 1生	A	対象の	9妥当性 9	<u>☑ 1 妥当であ</u> ☑ 1 妥当であ	<u>る □ 4</u> る □ 2	2 (快計 2 (検討	 の未地の の余地あ	りり		ョでない 当でない	
			目標這	目標達成度 □ 1 高い □ 2 目標どおり □ 3 低い・未実						い・未実施		
	有 効 性	Α		類似事業の有無 🔽 1 なし				□ 2 検討の余地あり □ 3 あり				
6				上位施策への貢献度 ☑ 1 高い □ 2 普通 コスト効率 ☑ 1 高い □ 2 普通						□ 3 低		
6評価	効 率 性	Α	実施主	三体の適正化	☑ 1 適正であ		2 改善	の余地あ		□ 3 適	正でない	
			負担害	可合の適正化	☑ 1 適正であ		2 改善	の余地あ	IJ	□ 3 適	正でない	
	1 次評価 (課長総括)	Α	計画と 当	ごおり事業を実施	他することが適	2次評価	i 7	要				
	後課 の	■ 直への接続に際して、適 下水道経営に必要な事業	100円		することは、健	評価結果		l				